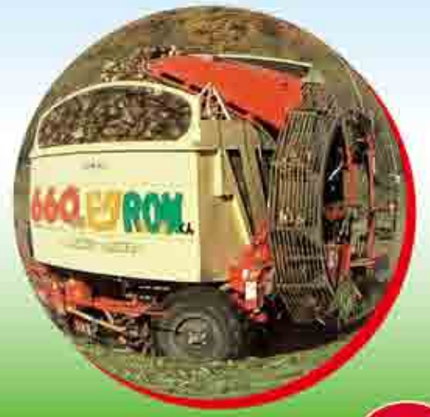
2015
総合カタログ

Machinery of Nichino



一歩先を行く　時代は ニチノー

製造元
日農機製工株式会社
本社・工場／〒089-3727 北海道足寄郡足寄町郊南1丁目13番地
TEL：0156-25-2188㈹ FAX：0156-25-2107
http://www.nchngp.co.jp

総販売元
日農機 株式会社
本社／〒080-0341 北海道河東郡音更町字音更西２線17番地（IC工業団地）
TEL：0155-45-4555㈹ FAX：0155-45-4556

■十 勝 支 店／〒080-0341 北海道河東郡音更町字音更西２線17番地
TEL：0155-45-4555㈹ FAX：0155-45-4556
■美 幌 営 業 所／〒092-0001 北海道網走郡美幌町高野92番地
TEL：0152-73-5171㈹ FAX：0152-73-1318
■小清水営業所／〒099-3614 北海道斜里郡小清水町字小清水53番３
TEL：0152-62-3704㈹ FAX：0152-62-2971
■倶知安営業所／〒044-0076 北海道虻田郡倶知安町高砂87番地
TEL：0136-22-4435㈹ FAX：0136-22-0071
■美 瑛 営 業 所／〒071-0215 北海道上川郡美瑛町扇町421番12
TEL：0166-92-2411㈹ FAX：0166-92-2403
■三 川 営 業 所／〒069-1144 北海道夕張郡由仁町本三川683番１
TEL：0123-87-3550㈹ FAX：0123-87-3551

※このカタログの内容は 2015 年現在のものであり、写真・仕様につきましては改良のため予告なく変更する場合があります。
※純正品以外のパーツを取り付けて故障した場合は、補償対象外とさせていただきます。
※トラクターに作業機をつけて公道を走行することは認められていません。作業機を取り外して走行して下さい。
※ちどり足踏みまんべんローラー、みらくる草刈るチ、コルタイヤ、ＣＭＳ株間輪、株間輪トガリ爪、中期用株間クサトリーナ、m・ＡＲＯＴリーナ、葉よけーナ、ゴロクラッシャー、スコッ刃、ウィングディスク、やなブレード、イーグル羽根、フレキシ培土器、早償カマボコ培土器、バイブレード、どこでもトレー、ピタＲＯＷくん、くるピタくん、ＡＲＯＴ、ＣＯＯＳ、ＡＳＣＳ、斜カットレール、丸曲げフレーム、浅軽フレキシブルショベル、センターサポートイージーテンショナー、プレスケルトンロータリーバケット、スケルトンタイプフィーラーホイール、免傾自脱バネ、いたわりバン、ふまんガード、ＤＳＳＡコルターは日農機製工㈱の登録商標です。
※掲載写真、記事を日農機製工・日農機の許可なく転載・複写・その他の複製をすることを禁じます。

私たちは北海道を拠点に、畑作農業の強力サポーターであり続けることを追求する、畑作農業機械の専門メーカーです。

緑豊かで広大な農業王国「ほっかいどう」！ 私たちはその北海道・「とかち」を拠点に、畑作農業機械の開発・製造を手がけ、常に畑作農業の生産性向上に大きく貢献することを追求する畑作農業機械専門の企業です。
昭和22年3月に創業した安久津農機具製作所を出発点とし、今ではお客様の圧倒的な厚いご支援をいただき、市場占有率No.1を誇るカルチベーター（中耕除草作業機）やビートハーベスター（甜菜収穫機）のほか、カルチベーター専用のアタッチメントや鎮圧ローラー、マルチャーなど、常に畑作農業に大きく貢献する製品の開発に取り組んでいます。

3D-CADで新製品開発を行なう設計室

安全装置を装備したプレス群

最大25㎜の厚さまで加工可能なNCプラズマ切断機

先進の技術を装備した製品を創り出す設計スタッフ　高精度・高品質な製品を作り出す充実した機械設備群

最大60°までの角度切りが可能なドイツ製全自動角度切り丸鋸盤

高精度な部品を生産する立形マシニングセンター群

シンクロモーション動作が可能なポジショナー付溶接ロボット群

鎮圧ローラー

マルチャー

カルチベーター

カルチ アタッチメント

ビートハーベスター

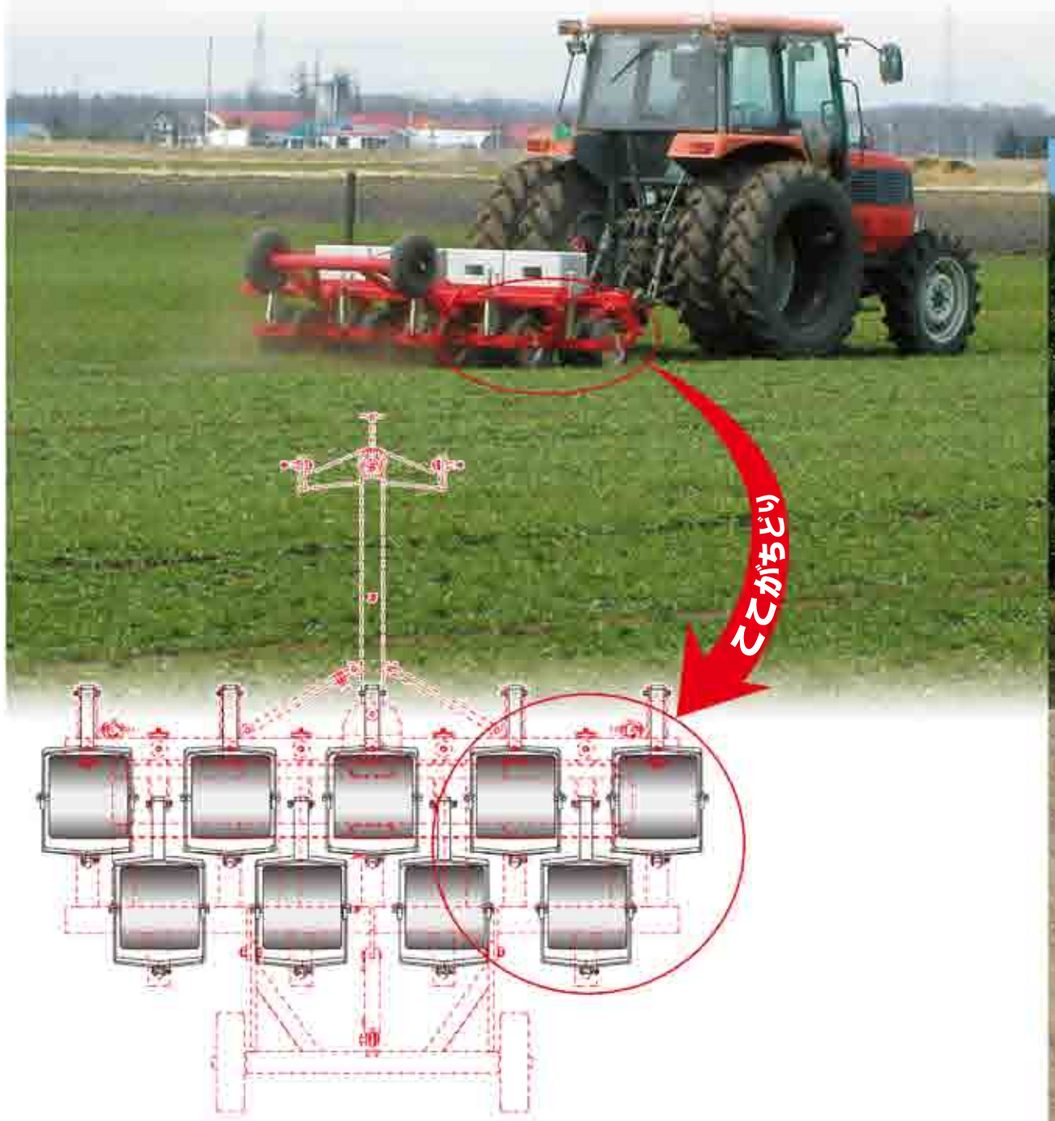
スッキリ!!

踏み残しなし…
異次元鎮圧ローラー

ちどり足踏み まんべんローラー®

invented by K.Fukuzawa

古来より畑の鎮圧作業が行われ、さまざまな鎮圧作業機が使用されてきましたが、畑はただ単に鎮圧するだけで良いのでしょうか？　ニチノーは鎮圧作業にもこだわってみました。従来の鎮圧ローラーより外径が小さく幅の狭いローラーを、ちどりにたくさん配列しているので、作業幅内に踏み残しが一切できません。しかも、すべてのローラーが独立懸架となっているので、畑の凹凸にそれぞれのローラーが絶妙に反応します。そのうえ均一に荷重をかけるので、ムラなく鎮圧をしていきます。さらに土の水分が多い時でも、内イボ付中空マウントゴムローラーの採用により、ローラー表面に土が付着しづらくなっております。雪融け後の浮かされた小麦の根の定着化はもちろん、豆類やばれいしょなどの播種後など、鎮圧をかけたいあらゆる場面にご使用できます。ちどり配列されたローラーが、まるで大勢の人が素足で踏み締めたように、まんべんなく鎮圧する……だから、「ちどり足踏み　まんべんローラー」。



鎮圧ローラー

人が素足で踏み締める……

「まんべんローラー」が目指した踏み方です。ケンブリッジローラーのようなギザギザな踏み方ではなく、一般の筒形ローラーのような高い所だけを踏んで低い所は踏まない踏み方でもありません。高い所も低い所もまんべんなく、“ツルツル”“ピカピカ”に仕上げます。試しに「まんべんローラー」で踏んだ畑を素足で歩いてみて下さい。畑の表面にはあなたの足跡がかすかに残る、そんな風になるはずです。
春先の雪融け後の畑の小麦はもちろん、播いた後の豆も麦もイモも、作物達はみんな『人が素足で踏み締める』ように、優しいのに、けれどもしっかりと踏み締められることを望んでいるのではありませんか？そして、より強く、たくましく、いち早く成長したがっているのではありませんか？

●ちどり配列独立懸架（特許）

従来の鎮圧ローラーは、図１のように隣同士のローラーに隙間があり、鎮圧ができないところがあります。しかも、幅が広いために鎮圧にもムラがありました。しかし、図２のように幅の狭いローラーを数多く、しかもちどりに配列している「まんべんローラー」は、ローラーの間に隙間がなく、鎮圧しないところができません。そのうえ、すべてのローラーを独立懸架とすることで、それぞれのローラーが独立して畑の凹凸に反応します。ですから、作業幅内の土の表面をまんべんなく踏んでいきます。

図1. 従来の鎮圧ローラーの作用イメージ

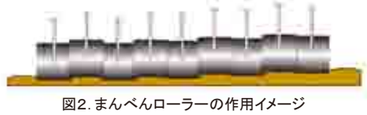


図2. まんべんローラーの作用イメージ

●内イボ付中空マウントゴムローラー（特許）

ゴムローラーは中空マウントとなっていますが、単なる中空ではありません。ゴム内面に小さなイボ状の突起を規則的に配列しているので、中空効果が飛躍的に向上し、土が表面により付着しづらくなっています。ですから、あらゆるほ場条件で安定したきれいな仕上がりを提供します。もちろん、石れき等にも耐久性のあるゴムですが、万が一劣化などした場合でも簡単に交換できる親切設計となっています。

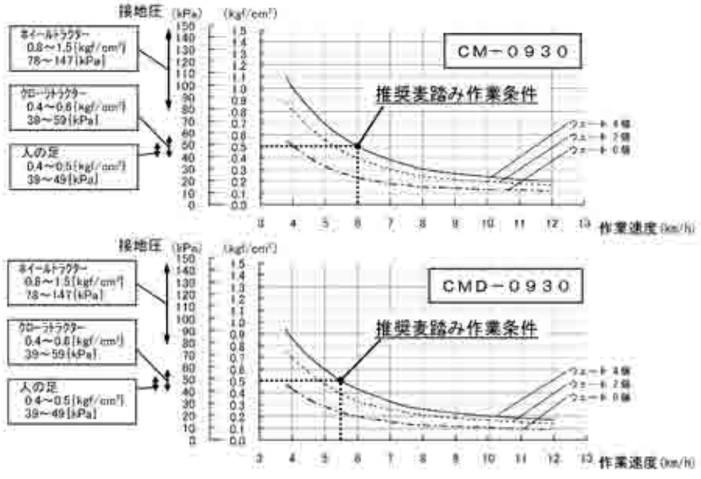
※赤い部分は中空部です

●1軸ダブルスプリングサスペンション

ローラーのサスペンション部には、絡まることのない巻き方向の異なる２本のスプリングを使用することで可能となった、独自の１軸ダブルスプリングを採用しています。緻密に計算し尽されたこの２本のスプリングは、凸凹なほ場でもローラーが絶妙に上下追従することを可能とし、またそれぞれのローラーに均一の荷重をかけてくれます。しかも、ウェート調整をしても必要な高低ストロークを保ってくれるので、常に安定した仕上がりを提供してくれます。

●専用調整ウェート

接地圧の調整にはこの専用調整ウェートをご使用下さい。この調整ウェートには積み下ろし用の穴が付いているので、ウェートの積み下ろしも簡単に行えます。また、右の「接地圧－作業速度グラフ」が取扱説明書に記載されているので、お好みの接地圧となるように簡単にウェート個数、作業速度の決定を行うことができます。なお、グラフはあくまでも参考値で、ほ場の諸条件（土質、踏む前の硬さ、水分など）、作物の種類等によって接地圧は変わります。ほ場がお好みの状態になるよう確認しながら作業を行って下さい。



ニチノー CM-0930：けん引タイプ

ニチノー CMD-0930　：3点直装タイプ

■装備一覧

型式	ニチノー CM-0930	ニチノー CMD-0930
折りたたみ式ヒッチビーム	●	
リンケージドローバー	●	
油圧ホースホルダー	●	
ワンタッチヒッチ		●
ちどり配列独立懸架	●	●
内イボ付中空マウントゴムローラー	●	●
1軸ダブルスプリングサスペンション	●	●
専用調整コンクリートウェート	●	●
油圧ポジションチェンジ式移動用タイヤ	●	
専用スタンド	●	●

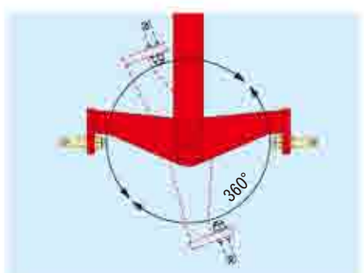
■主要諸元

品名		鎮圧ローラー	
愛称		まんべんローラー	
型式		ニチノー CM-0930	ニチノー CMD-0930
規格（作業幅[mm]）		3,000	
適応トラクター(kW[PS]以上)		22[30]	51[70]*1
カテゴリー		Ⅰ・Ⅱ*2	Ⅰ・Ⅱ*3
装着方法		トラクターけん引式	3点直装
ロワーリンク持ち上げ高さ(mm以上)		750	675
全長(mm)（保管時）		3,235（1,865）	1,490（—）
全幅(mm)		3,105	
全高(mm)（保管時）		1,455（1,290）	1,455（1,285）
本体重量(kg)		1,155	1,100
調整ウェート重量(kg)		430（約107kg×4個）	
総重量(kg)		1,585	1,530
ローラー部	装着方式	ちどり配列＋独立懸架 1軸ダブルスプリング	
	高低ストローク(mm)	150	
	構造	内イボ付中空マウントゴム	
	サイズ[幅×直径(mm)]	370×395	
	個数	9個	
タイヤ部	作動方式	複動1系統*4	—
	サイズ	500-8 8PR	—
	空気圧(kPa[kgf/cm²])	490[5.0]	—
作業速度*5(km/h)		4.0～	
作業能率*5(a/h)		120～	

＊１：油圧揚力が３，０００kg以上あるトラクターをご使用下さい。＊２：ロワーリンクピンは小リンクが標準です。大リンクをご希望のお客様はあらかじめ担当セールスにお申しつけ下さい。＊３：トップリンクピン、ロワーリンクピンは大リンク仕様です。＊４：外部油圧ポート（複動）が装備されているトラクターをご使用下さい。＊５：作業速度、能率は理論値であり、ご使用になるトラクターやほ場の諸条件により変わります。

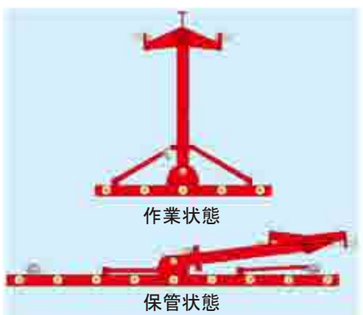
●リンケージドローバー

けん引タイプ（CM-０９３０）のトラクターへの装着はロワーリンクを利用するため、微妙な高さ調整が簡単に行えます。また、スイングドローバーに比べて旋回支点位置が後方にあり、しかも、ドローバー部は３６０°回転が可能な構造ですから、枕地等での旋回でも小回りが利きます。また、リンクピンは付け替え可能となっていますので、ご使用になるトラクターに合わせて大、小いずれのリンクピンでも装備できます。



●折りたたみ式ヒッチビーム

「けん引タイプのまんべんローラー（CM-０９３０）は全長が長いので、広い保管スペースが必要なのでは…？」と、ご心配のあなた。ご安心下さい。ヒッチ部を折りたたみ式にすることで、全長が作業時より約１／２と非常にコンパクトになります。しかも、ピン１本の抜き差しとハンドルによる固定ですから、切り替えも簡単に行うことができます。



●油圧ポジションチェンジ式移動用タイヤ

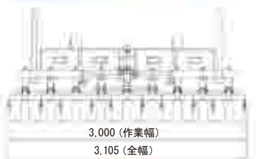
けん引タイプ（CM-０９３０）の移動時や保管時は、後ろのタイヤを下げてローラーが傷まないようにしますが、タイヤの上げ下げは、トラクターの外部油圧（複動）を利用するので、運転席から楽チン操作が行えます。しかも、ご覧のように非常に高い位置まで上がるので、旋回時も土手などが気になりません。

●ロワーリンクワンタッチヒッチ

３点直装タイプではトラクターとの着脱が楽なロワーリンクワンタッチヒッチを採用。しかも、トップリンクは完全固定ではないため、トラクターによる強制的な押さえ付けを防ぎ自然な鎮圧を提供いたします。

■寸法図

ニチノー CM-0930



ニチノー CMD-0930

＜作業状態＞

＜格納状態＞

北海道で鍛え抜かれて育ちました…丈夫・　長持ち・使いやすいマルチャー

地温調整や土壌水分調整、害虫防除や雑草防除に行われるマルチ栽培。でも広大な畑にマルチフィルムを張るのは大変な作業です。北海道の広大な畑を知り尽くしたニチノーが提供する、シンプルさ・使いやすさ・多様性・耐久性を追求し、野菜栽培（マルチ栽培）に最適なトラクター用マルチャー。多種多様にあるマルチ用フィルムに適応し、安定したきれいなフィルム張りを提供いたします。きれいに張られたフィルムに守られ、植えられた作物たちも安心して「すくすく」、「のびのび」と成長できるのではありませんか。

マルチャー

NM−1800

NMR−1800

NMH−S

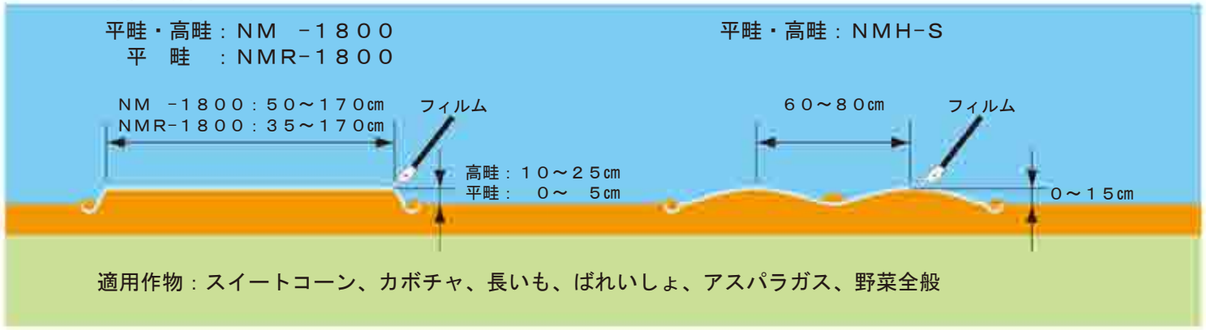
ニチノー　NM-1800：3点直装タイプ

ニチノー　NMR-1800：ロータリーハロー　装着タイプ

ニチノー　NMH-S：3点直装・中央土のせタイプ

マルチャー

■マルチ後の断面



ワンポイントアドバイス

マルチフィルムの幅は、成形された畦の表面の長さに約30cm程度プラスした幅を選択すると良いでしょう！

■主要諸元

品名	マルチャー		
型式	ニチノー NM-1800	ニチノー NMR-1800	ニチノー NMH-S
規格（適用フィルム幅（mm））	800～2,000	650～2,000	800～2,200
適応トラクター（kW{PS}以上）	11{15}	ロータリーに準拠	11{15}
カテゴリー	Ⅰ・Ⅱ*1	ロータリーに準拠	Ⅰ・Ⅱ*1
装着方法	3点直装	ロータリー装着	3点直装
全長（mm）	1,350	2,050	2,100
全幅（mm）	2,000	2,000	2,200
全高（mm）	1,000	650	1,150
重量（kg）	90	110	170

＊1：ロワーリンクピンは小リンクが標準です。大リンクをご希望のお客様はあらかじめ担当セールスにお申しつけ下さい。

●ディスクコルター・スポンジ車

フィルムを張る際に溝を切る、フィルムを押さえつける、フィルムの両端を押さえるための覆土、この一連の作業を１度に行います。ディスクコルターは土の切り込みが良く、しかもベアリングを使用しているので耐久性にも優れています。また、覆土用ディスクコルターの作用強さはハンドル操作で簡単に調整できます。

●フィルム積載台

長い畦の途中でフィルムを使い切ってしまった、予備のフィルムは重たいから持ち歩くのは大変、でも畦の端に置いたままで、わざわざ取りに行くのも面倒、そんな煩わしさを専用のフィルム積載台が解消します。フィルム積載台に予備フィルムを載せておけば、無くなった所からすぐにフィルムを継ぎ足して作業を開始できます。

●フィルム張り強さ調整機構

風が強い時など、フィルムを捲れづらくするために強く張りたい。そんな時はフィルム取り付けアームに付いているフィルムホルダーのピンの取り付け位置を変えて下さい。フィルムの回転速度が緩やかになり、簡単に強く張れるようになります。

●跳ね上げ式サイドビーム

ロータリーハローに装着するNMR-１８００は、どうしても全長が長くなってしまいます。でも、ご安心下さい。サイドビームが跳ね上げ式になっているので、全長が簡単に短くなります。ですから狭い場所での旋回や移動も楽チンです。

●アジャスト取付部

NMR-１８００には、メーカーや大きさがさまざまなロータリーハローに簡単に取り付けができるように、あらかじめ取り付け穴が設けられています。ですから、ご使用になるロータリーハローに合わせて、バツグンの位置関係で取り付けることが可能です。しかも、ロータリーハローと本体を左右方向でオフセットして取り付けることもできます。

●確実な土のせ装置

幅の広いフィルムは風ではがされやすく、せっかく張ったばかりのフィルムを張り直さなければならない。NMH-Sには土のせ装置が付いているので、フィルムの中央に土を落として風で飛ばされるのを防ぎます。しかも、土の繰り出しは駆動輪と連動しているので、作業速度に合わせて一定量を安定してフィルムの上に落としていきます。

畑から雑草を撲滅するクリーン農業の強力 サポーター

畑から雑草を撲滅するために誕生した「みらくる 草刈るチ」シリーズ。
畦間だけを中耕・除草する３本爪カルチベーターとは異なりますが、単なる除草専用機でもありません。
「畦間の中耕・除草」だけではなく、「株間・根際の中耕・除草」もこなす、精密カルチベーター。
手取り除草の負担軽減や除草剤使用量の削減などに大きく貢献するクリーン農業の強力サポーターです。

みらくる 草刈るチ® シリーズ

「ALL IN ONE みらくる 草刈るチ」は、8本+αの爪の同時装着が可能なビームを持ち、各部の調整、取り扱いなども容易にできる。8種類のアタッチメントを標準装備とする最高峰「草刈るチ」。

1台で何役もこなす ALL IN ONE くさカルチ みらくる 草刈るチ®

フレーム重量が2型式の中間のは、「草刈るチJr.(じゅにあ)」ではで同時装着によるカマボコ培土な

深耕・培土もこなす みらくる 草刈るチ mid.(みどる)

「みらくる 草刈るチmid.(みどる)」きなかった深耕や、縦爪2本のどの重作業もラクラクこなす。

「みらくる 草刈るチJr.(じゅにあ)」は、フレーム重量がわずか200kg。きつい傾斜のある畑や小回りが必要な畑などで大活躍。27馬力クラスの小型トラクターから作業ができる最軽量「草刈るチ」。

小型トラクターで作業可能 みらくる 草刈るチ Jr.(じゅにあ)

みらくる草刈るチ®シリーズで コスト ダウン&収量アップ!!

３本爪カルチベーターとは異なり、株間・根際の除草もできる「**草刈るチ**」シリーズを使用すれば、より大きな経済効果、増収効果が期待できます。

① 中耕作業には、**地温上昇効果**があります。
② 深耕爪には、畦間サブソイラーと同等の**干ばつや湿害を防ぐ効果**があります。
③ 深耕爪により、**作物の根の発達を促進し、増収効果**があります。
④ 畦間サブソイラーのように１度に深く作用させる必要がないので、**活着した根をうかす心配がありません。**
⑤ 作業深度を徐々に深くできるので、**けん引抵抗が小さく**、小型トラクターによる作業が可能なので、**踏圧による作物への影響が軽減**されます。
⑥ 株間除草が可能なので、**人手による除草の手間を省く**ことができます**(投下労働量、人件費の削減)**。
⑦ 除草剤を使用した場合のような、**作物の生育遅延がありません。**
⑧ 定期的に作業を行えば、**除草剤の使用量を減らすことが可能**です。

これらの効果は、「**草刈るチ**」の使用頻度、ほ場の諸条件(土質や水分状態など)、その年の天候などによって変わることがあります。

ウィングディスク

m・AROTリーナ

草刈る　チによる処理前後

CMS株間輪

中期用株間クサトリーナ

みらくる草刈るチシリーズに中耕・除草　効果をもたらすアタッチメント

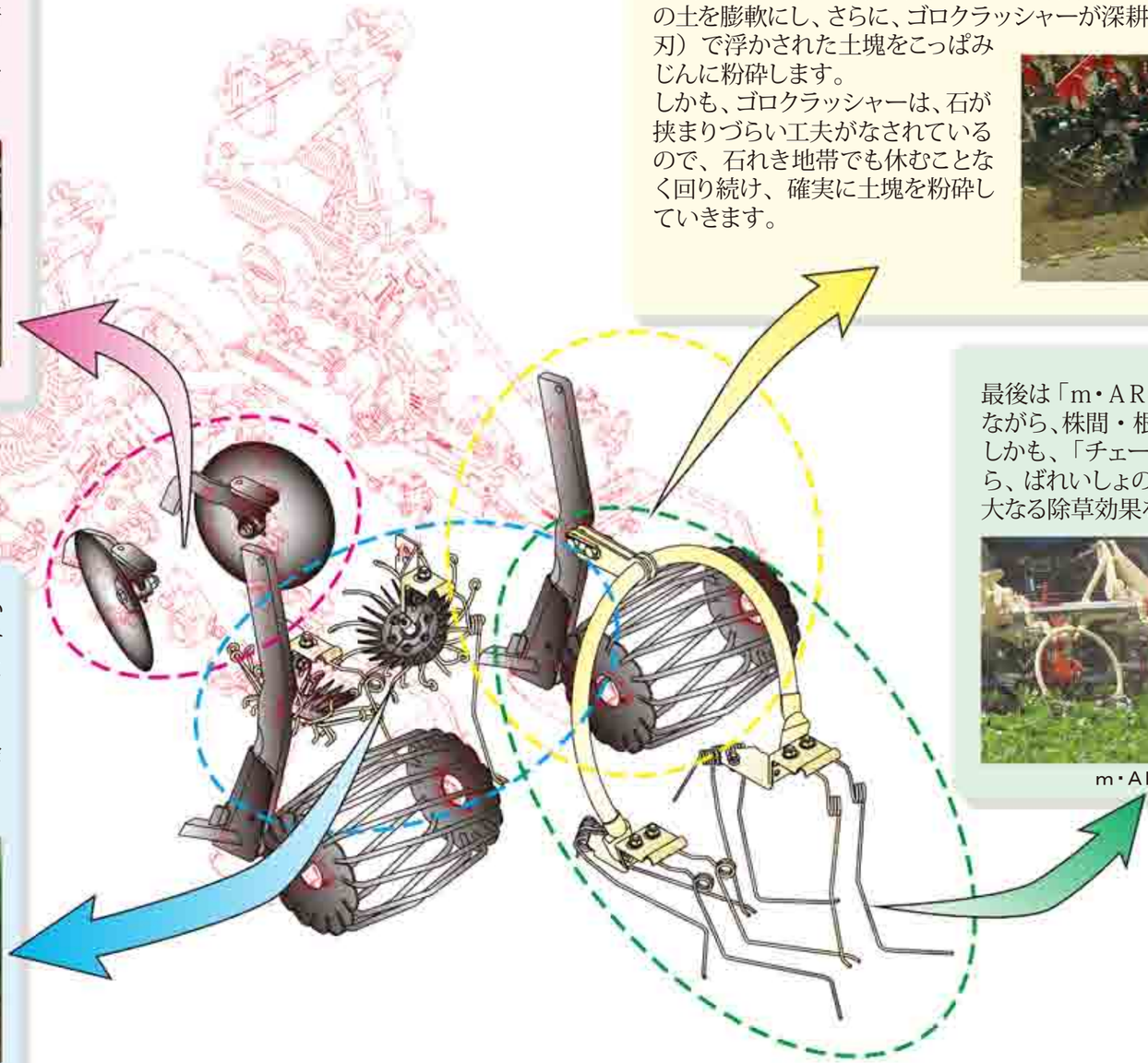
ウィングディスクは、作物に土をかぶせたくない初期除草にバツグンの効果を発揮。また、左右のディスクを逆に取り付け、土寄せのセッティングにすれば、ばれいしょの萌芽期培土にも使用できます。
中期以降は、ヤナギ刃で少しずつ土を寄せながら、根際を中耕・除草。

ウィングディスク

ヤナギ刃

畦間の中耕は深耕爪（ヒョウタン刃）とゴロクラッシャーにお任せ下さい。
深耕爪（ヒョウタン刃）が、トラクターで踏まれて硬くなった畦間の土を膨軟にし、さらに、ゴロクラッシャーが深耕爪（ヒョウタン刃）で浮かされた土塊をこっぱみじんに粉砕します。
しかも、ゴロクラッシャーは、石が挟まりづらい工夫がなされているので、石れき地帯でも休むことなく回り続け、確実に土塊を粉砕していきます。

ゴロクラッシャー



最後は「m・AROTリーナ」が、常に畦の中心に追従しながら、株間・根際をさらにキレイに除草・整地します。
しかも、「チェーン付くまで」への交換取付が可能ですから、ばれいしょの萌芽期除草や豆類の初期除草でも、絶大なる除草効果を発揮します。

m・AROTリーナ

チェーン付くまで

初期除草には「CMS株間輪」が、株間・根際の土を軟らかく攪砕しながら除草をしていきます。しかもストーンプロテクターが、石や土塊を寄せ付けないので、株間輪は休むことなく回り続け、能力を十二分に発揮できます。
さらに中期は、「中期用株間クサトリーナ」が作物を傷めず、成長した作物の株間・根際を這うようにキレイに攪砕・除草します。

CMS株間輪

中期用株間クサトリーナ

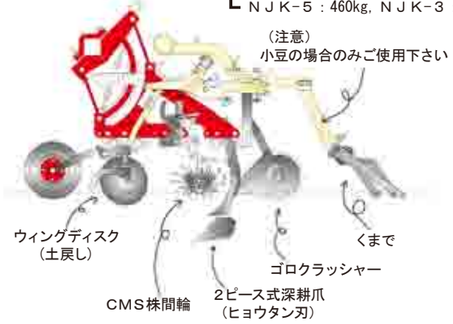
草刈るチ® だから実現できる {あんな作業 こんな作業

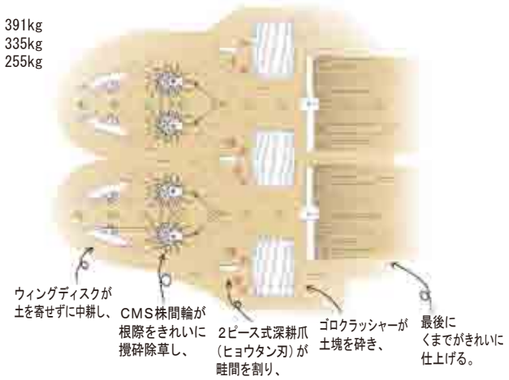
（詳しくは付属の取扱説明書をご覧下さい）

草刈るチシリーズは、従来の３本爪カルチベーターとは異なり、１本のビームに８本爪＋α（ＮＭＫ、ＮＪＫは５本爪＋α）の装着を可能とした中耕除草機です。
ですから、畑の状態・作物の生育状況等々、ご使用になる時の条件に合わせて、ご使用になる方の工夫次第で、バリエーション豊富にセッティングが可能です。
もちろん、基幹品目に代表されるビート・豆類・ばれいしょのセッティングについては、完全マニュアル化しておりますので、初めてお使いになる方でも満足してお使いいただけます。
ここにその数例をＮＡＫをモデルにご紹介します。

●小豆・大豆・移植ビートの初期

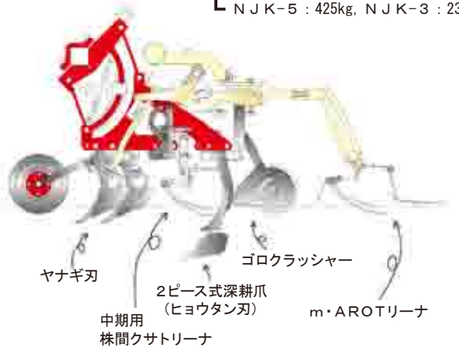
概算重量 ［ＮＡＫ－５：708kg，ＮＡＫ－３：391kg
ＮＭＫ－５：573kg，ＮＭＫ－３：335kg
ＮＪＫ－５：460kg，ＮＪＫ－３：255kg

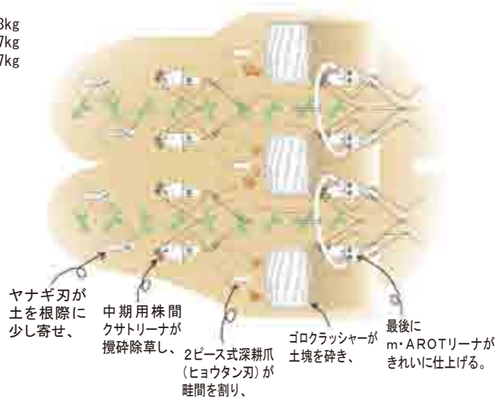




●小豆・大豆・移植ビートの中期

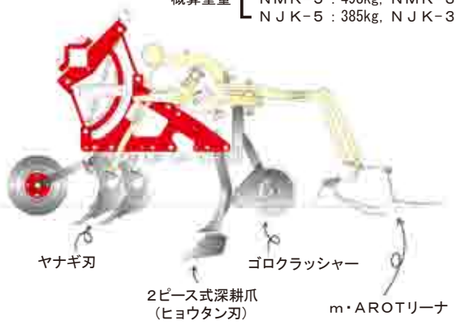
概算重量 ［ＮＡＫ－５：673kg，ＮＡＫ－３：373kg
ＮＭＫ－５：538kg，ＮＭＫ－３：317kg
ＮＪＫ－５：425kg，ＮＪＫ－３：237kg

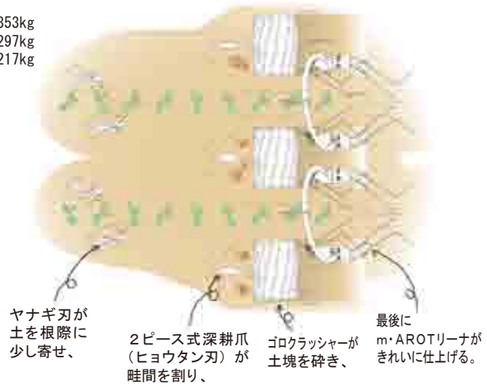




●小豆・大豆・移植ビートの後期

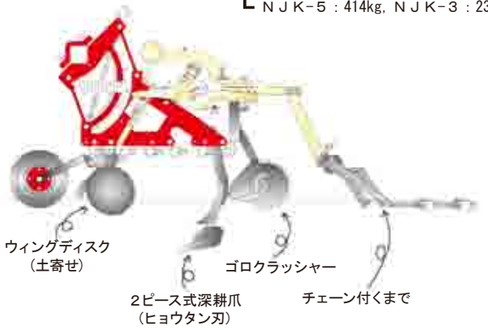
概算重量 ［ＮＡＫ－５：633kg，ＮＡＫ－３：353kg
ＮＭＫ－５：498kg，ＮＭＫ－３：297kg
ＮＪＫ－５：385kg，ＮＪＫ－３：217kg

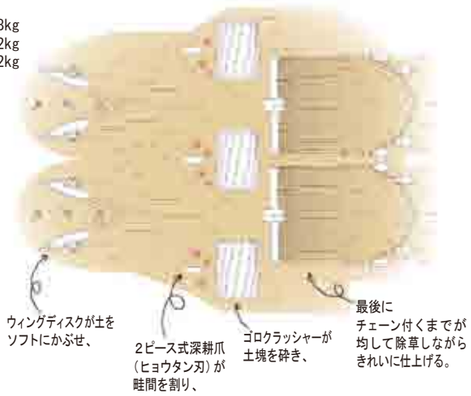




●ばれいしょの萌芽期

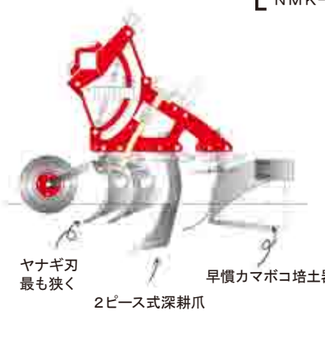
概算重量 ［ＮＡＫ－５：662kg，ＮＡＫ－３：368kg
ＮＭＫ－５：527kg，ＮＭＫ－３：312kg
ＮＪＫ－５：414kg，ＮＪＫ－３：232kg

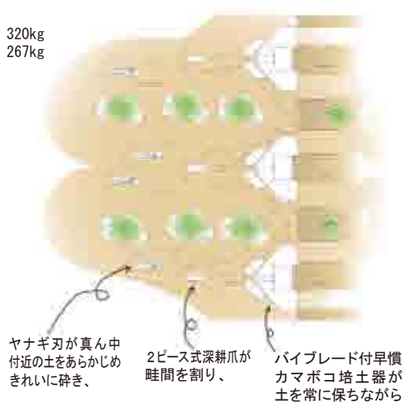




●ばれいしょの本培土期 （草刈るチＪｒ．（ＮＪＫ）はできません。）

概算重量 ［ＮＡＫ－５：564kg，ＮＡＫ－３：320kg
ＮＭＫ－５：434kg，ＮＭＫ－３：267kg





上手な使い方のポイント

草刈るチの性能を十二分に発揮させ、満足にご使用いただくためには下記の条件を整えることが大切です。
●播種、移植前の砕土を十分に行って土塊の量を最小限にしておくこと。
●豆類の播種深さは浅くなり過ぎないように（できれば3cm以上）すること。
●２畦移植のビートはあくまでも２畦処理に徹すること（m・AROTリーナを使用すれば中期以降の４畦処理が可能になります）。
●自己流よりもまずは取扱説明書に従って使用してみること。

草刈るチ

草刈るチシリーズに高精度な作業を提供する精密ボディ

文字の色により適応型式が異なります（緑色:NAK専用　黄色:NMK専用　橙色:NMK・NJK共通　青色:3型式共通）

●ねじクランプ・畦幅アジャスター

畦幅固定のための締め付けは、焼き入れボルトでガッチリですが、締め付け部に独特のねじクランプを採用しているため、緩めたり締めたりは付属の専用スパナを用いて、わずか“ナット半回転”でOKです。畦幅変更はねじクランプを緩めた後に畦幅アジャスターのハンドルを回して下さい。手で動かすととても重いカルチのユニットが、まるでうそのように軽々とスライドします。しかもフレームへの当たり面には「そり」状のプレートが装着されていて、フレームへの傷つきを最小限に抑えています。

ねじクランプ

畦幅アジャスター

●ワンタッチロック式軽々ツイストフォルダー

折りたたみ機構は、ねじれながらたたまさる独創のツイスト方式によって、わずか90°で全幅が大きく狭まります。しかもガススプリングのはたらきで軽々と持ち上がり、ロック機構もレバー操作のみのワンタッチ方式です。さらに広げるときもヒンジプッシュピンの働きでワンタッチで行えます。“丈夫なカルチはたたんだり、広げたりするのが重くて大変だ”という従来からの常識を根底からくつがえす画期的な機構です。

●可変2ステージサスペンション

独創のアイディア、斜め平行リンクによるサスペンションは、障害物に対して逃げることはもちろん、ダブルスプリングのはたらきで上下ストローク範囲に応じて硬さが２段階（ツーステージ）に変化します。つまり、豆類の除草などの軽作業時はしなやかかつ敏感に（当社ＡＤシリーズと同等の硬さ）反応し、培土・深耕作業などの重作業時は強く（当社ＮＣシリーズと同等の硬さ）受け止めてくれるというツーステージサスペンションです。しかもさらに、この“弱”から“強”へ変化するストロークポイントを付属の専用スペーサーの挿入によって簡単に変えることができるので、例えばタイヤ跡の畦間が極端に凹んでいる場合などでもゲージホイールが浮いてしまうことは全くありません。どんな場合にも常に一定の深さで爪を作用させることができる画期的な精密サスペンションです。

●ロータリースペーサー付チャックブラケット

深耕爪は最もけん引抵抗を受けるので、他の足や培土器類に比べて一段と太く、安全ボルトも強くなっていますが、交換の際にチャックや安全ボルトまで取り替えるのは面倒なものです。でもご安心下さい。このロータリースペーサー付チャックブラケットを採用することで、チャックやボルトを取り替えることなく簡単に足を交換できます。しかもヤナギ刃・ウィングディスク・ＣＭＳ株間輪などとの併用も可能にする独創的な構造で、１本のビームにホイールブラケット１つ、チャックブラケット２つが付いているので、縦足２本と横足６本の合計８本の足の同時装着を可能にし、爪カルチとしての機能を飛躍的に向上させました。

●ロワーリンクワンタッチヒッチ

ヒッチ部には、トラクターへの着脱が楽なロワーリンクワンタッチヒッチを採用。しかも、トラクターに合わせてヒッチ点の高さと前後方向をともに変えることができる構造なので、大型から小型まであらゆるトラクターに適応した理想的なけん引状態を提供します。

●着脱式ブラケット（特許）

ビームには４本のスライドシャンクを同時装着できるように４箇所のブラケットがありますが、その内の１つのブラケットが、深耕チャックによる固定となっており、着脱ができるので、ブラケットを外すことによって、縦爪２本の同時装着も可能です。

●3ポジションロック式軽々フォルダー

折りたたみは、スプリングのはたらきで軽々と持ち上がり、ピンの差込位置を変えるだけで５畦処理時と３畦処理時、格納時の３段階に簡単に変更できるシンプルかつ画期的な機構です。

●マルチアジャスタブルサスペンション（特許・意匠）

斜め平行リンクによるサスペンションは、作用強さを中骨バネガイド下部のピン取付穴に従ってピンの取付位置を変えるだけで４段階に調整できます。ですから、砂地など膨軟な畑では弱く、粘土地など表層が硬くなりやすい畑では強く受け止める調整が簡単にできるシンプルかつ画期的なサスペンションです。また、中骨バネガイド上部のストッパーボルトの取付位置を下に変えると、ホイールの位置を約５０㎜後方へずらすことができ、コルタイヤを使用する場合のトラクターのタイヤとの干渉を防げる親切設計となっています。

●引っ掛けスタンド（特許）

専用スタンドはピン不要の着脱方式で、フレームのスタンド取付部にスタンドフックを引っ掛けるだけのワンタッチ方式となっています。ですから、狭いところに体を入れて、ピンを抜き差しする煩わしさがありません。

●フリーホイールアジャスター

作用深さの調節はゲージホイール調整ハンドルを回すだけの完全ワンタッチ機構です。しかも正確な目盛り付きなので、各畦間ごとにねらった深さに一瞬にしてピタリとセットできます。もちろんNMK・ＮＪＫも８インチ大径タイヤ、コルタイヤ（１３インチ）の装着は可能です。

NAKのフリーホイールアジャスター

NMK・NJKのフリーホイールアジャスター

●タイヤスクレッパー（特許）

畑は湿っているけどどうしてもカルチ作業をしなければならない、湿った土がタイヤにベッタリと付いて外径が大きくなってしまう、タイヤの外径が変わるから作業深さが安定しない、そんな問題を解消するこの「タイヤスクレッパー」は、タイヤに付着した湿った土を削り取ってくれるので、タイヤの外径が変わりづらくなります。タイヤの外径が変わらなければ、作業深さは安定することになります。特に培土作業時に作業深さが安定します。

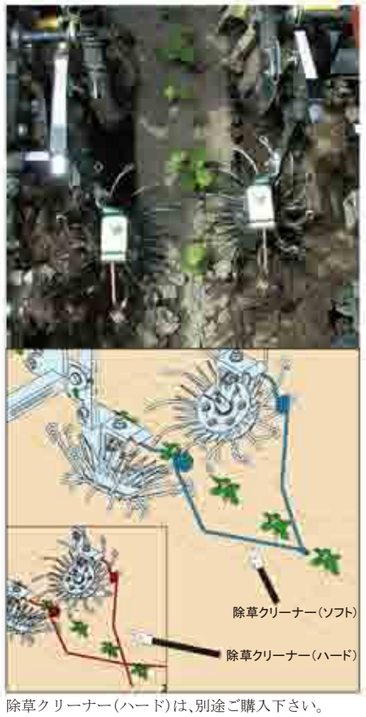
（５インチ、８インチどちらのタイヤでも装着可能）

草刈るチシリーズに高精度な作業を提供するアタッチメント

文字の色により適応型式が異なります（緑色:NAK専用　黄色:NMK専用　橙色:NMK・NJK共通　青色:3型式共通）

●CMS（シーエムエス）株間輪（特許）

豆類・ビートの初期における株間・根際の除草は、このＣＭＳ（Curved Mount Sprimg）株間輪におまかせ下さい。まずは前方の株間輪が作物の近傍の土に深さ約１㎝で作用し、作物から遠ざける方向に土をわずかに移動させながら均一に攪砕して雑草をグラつかせ、そこへすかさず後方の除草クリーナーがグラついた雑草の足元をすくうように作用し、土中に埋めたり地表に引きずり出したりして根こそぎ退治します。この、株間輪と除草クリーナーとのコンビネーションはまさに絶妙で、作物にやさしく、雑草にきびしく、まるでホーを通したような仕上がりを提供してくれます。また、カルチ本体のサスペンションとは別に、ユニットごとに独立したＣＭＳ機構装備の平行リンクサスペンションを備えているため、畑の微妙な凹凸に対してひとつひとつのＣＭＳ株間輪がそれぞれ単独で常に一定の作用深さを自動的に維持してくれるので、深さの調節は全く不要です。作物の種類・大きさや畦幅、オペレーターの方の運転技術に応じて幅をセットするだけでＯＫです。しかも、より効果的な作用をさせるために、株間輪と除草クリーナーとはそれぞれ別々に幅調整を行うことができる構造になっています。さらに、硬い土質や降雨後の硬い表層にも、付属の専用工具を使用してネジを回すだけで作用強さを強く、適切な対応ができます。また、１回目はウィングディスク、２回目はヤナギ刃との組み合わせでさらに威力が倍増します。除草の基本は「草を見ずして草を取れ」といいますが、雑草がまだ見えない位のうちに先手先手で繰り返し処理して下さい。ただし、このＣＭＳ株間輪の作用効果を最大限に発揮させるために、播種・移植の処理畦数とＣＭＳ株間輪の処理畦数は必ず同一にして下さい。加えて、播種・移植前の砕土を十分行って、土塊の量を最小限にしておいて下さい。なお、除草クリーナーには標準のソフトタイプ（イラストの青い部分）とは別に、除草効果をより高めるハードタイプ（イラストの赤い部分）も用意しておりますので、ほ場条件等に合わせて使用して下さい。



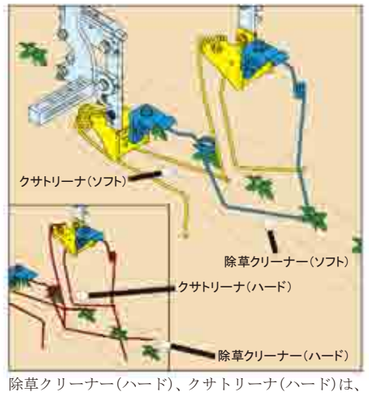
除草クリーナー（ハード）は、別途ご購入下さい。

●株間輪トガリ爪（特許）

ビートの移植や豆類の播種をした直後に雨が降り、表層にクラスト（硬い層）ができてしまった、今までの株間輪では十分に砕ききれない、そんな時は、この株間輪トガリ爪をご使用下さい。今までの先丸タイン形ブレードとは異なり、太く頑丈で２本の「トガリ」を持つこの爪が硬くなった表層をまるでスパイクで引っ掻いたように粉砕していきます。しかも作物に近い先端部は丸く、土への作用部だけが鋭角となった独特の形状をしているので、作物は傷めることなくやさしく、しかし硬い土はきびしく粉々に砕いていきます。ただし、砂地や火山灰系土壌などやわらかいほ場ではご使用をお控え下さい。太い爪が根際の土を削り取ってしまいます。あくまでも粘土系など表層が硬くなりやすいほ場の方にお勧めです。

●中期用株間クサトリーナ（特許）

豆類・ビートの生育中期における株間・根際の除草はこの中期用株間クサトリーナにおまかせ下さい。独自設計された２本のスプリングタインが、成長した作物の葉下の土を、一様な深さで攪砕しながら進みます。また、除草クリーナーとセットの状態で株間輪と交換できる構造となっているので、午前中は小豆に株間輪を、そして午後はビートにクサトリーナをと、めまぐるしく変わるカルチ作業時に、ナット１個を外すだけで簡単にセッティング変更できます。しかも株間輪の利点であるＣＭＳ機構と目盛り付きスライドシャンクがそのまま活かされるので、土質条件に応じて荷重をセットするだけで自動的に一定の作用深さを維持でき、また作物の種類等による幅調整もカンに頼ることなく目盛りに従ってより正確に、より簡単に行うことができます。なお、クサトリーナと除草クリーナーには標準のソフトタイプ（イラストの黄色と青色の部分）とは別に、ハードタイプ（イラストの赤色の部分）も用意しておりますので、ほ場条件等に合わせて使用して下さい。



除草クリーナー（ハード）、クサトリーナ（ハード）は、別途ご購入下さい。

●m・AROTリーナ（特許）

豆類・ビートの生育中期以降における株間・根際の除草効果を飛躍的に向上させるには、この「m・ＡＲＯＴ（まろっと）リーナ」をご使用下さい。「m・ＡＲＯＴリーナ」が搭載する『m・ＡＲＯＴ（エム・アロット）（mechanical Automatic Row Tracer）』は、「ピタＲＯＷくん」が搭載する電気と油圧を利用した『ＡＲＯＴ（アロット）』とは異なり、重力とバランスを利用したきわめてシンプルな自動畦追従機構で、曲がった畦でもまるで畦が見えているかのように作用部が右に左にと動き、常に畦の中心を捉えます。ですから、２畦移植したビートを４畦処理しても、それぞれの畦の中心を見事に追従します。さらに、傾斜地で「草刈るチ」が谷側に流されても、「m・ＡＲＯＴリーナ」は流されることなく畦の中心を捉えます。そのうえ「ジョイナー」で隣同士の「m・ＡＲＯＴリーナ」を繋ぐと、畦への追従性がさらにあがります。また大きく成長し、トラクターのタイヤに踏まれる等して垂れ下がった葉は、「葉よけーナ」が押し除けるように作用し、除草作用部に葉が溜まるのを防いでくれます。しかも本体への取り付け取り外し、畦幅の変更はリンチピンでワンタッチで行える親切設計です。
（NMK・ＮＪＫは注文装備です）

注意：m・ＡＲＯＴリーナは精密な重心バランスを保つよう設計された商品です。除草タインを外したり、純正品以外のタインを取り付けたりすると作物列に自動追従する機能が損なわれ、本来の除草性能を発揮できなくなりますので絶対におやめ下さい。

●2ピース式深耕爪（特許）

ヒョウタン刃より深く畦間を耕すことができる深耕爪は、硬くなった畦間の排水性を良くします。しかも、ＮＣＫやＮＳＫの深耕爪より土塊を発生させません。さらに、シャンク部と刃先部の２ピース構造で、そのうえ、ロールピン１本での固定となっておりますから、消耗部分だけを低コストかつ簡単に取り替えることができます。ご使用になる方のコストダウンをお手伝いする親切設計となっております。なお、刃先には標準の深耕爪よりも作用幅が広いタイプ、「Ｗ１００」もございます。ほ場条件等に合わせて使用して下さい。
（Ｗ１００は別途ご購入下さい）

標準の深耕爪

Ｗ１００
（作用幅が広い）

●ゴロクラッシャー（特許）

深耕爪やヒョウタン刃などで浮かした大きな土塊は、ゴロクラッシャーがこっぱみじんに砕きます。高さ調節はハンドルでワンタッチで、しかも正確な目盛り付のため、いつでも簡単に適正な作用深さが得られます。さらには葉よけドロよけ側板付きなので、作物が小さい時にはゴロクラッシャーで砕かれてはみでた土が作物にかぶるのを防ぎ、作物が大きい時にはトラクターで踏まれた茎葉がゴロクラッシャーに巻き込まれるのを防ぎます。カマボコ培土など一部の作業を除けば、一回目から仕上げまで長期間使用することができるので、可能な限り取り付けたまま使用して下さい。
（NMK・ＮＪＫは注文装備です）
（ＮＡタイプとNM・ＮＪタイプは装着方法、調整方法が異なります。NM・ＮＪタイプは深耕チャックを利用して取り付けます。また、高さ調整はストッパーピンの穴位置による８段階調整です。）

NAKのゴロクラッシャー

NMK・NJKのゴロクラッシャー

草刈るチシリーズの機能を拡張するオプションパーツ（全年式対応）

m・まろっとリーナ tuned by m・AROT mechanical Automatic Row Tracer （特許）

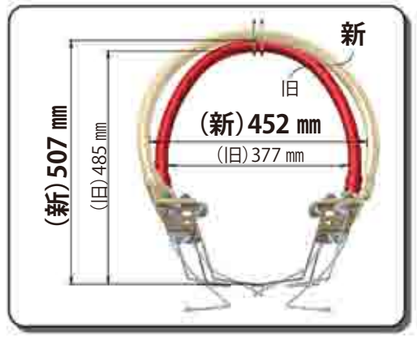
曲がった畦でも、横傾斜のきつい畑でも常に畦のど真ん中！
株間・根際をスッキリ除草！！

重力とバランスを利用したきわめてシンプルな自動畦追従機構『m・ＡＲＯＴ（エム・アロット）（mechanical Automatic Row Tracer）』を搭載した『m・ＡＲＯＴ（まろっと）リーナ』は、曲がった畦でも、２畦移植したビートを４畦処理しても、傾斜地で「草刈るチ」が谷側に流されても、まるで畦が見えているかのように作用部が、常に畦の中心を捉えます。
ですから、あらゆる作業条件でも、作物には優しく、雑草には厳しく作用し、「草刈るチ」シリーズの作業能率、除草効果、使いやすさを飛躍的に向上させます。

※：「m・ＡＲＯＴリーナ」は中・後期用の除草アタッチメントですが、移植ビートの初期除草には、ほ場の諸条件により、ご利用いただける場合があります。
注：「m・ＡＲＯＴリーナ」は精密な重心バランスを保つよう設計された商品です。除草タインを外したり、純正部品以外のタインを取り付けたりすると、作物列に自動追従する機能が損なわれ、本来の除草性能を発揮できなくなりますので絶対におやめ下さい。

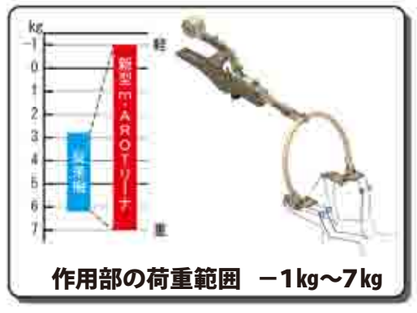
ポイント1 大きなアーチ

m・ＡＲＯＴアーチが従来より高さで２２㎜、幅で７５㎜大きい。アーチに茎葉等がぶつかりづらくなったので、より長期にわたってご使用いただけます。



ポイント2 広い荷重範囲

作用部の荷重範囲がグラフの通り２倍以上に広がり、バネを外さなくても作用部が浮き上がるまで調整できます。重たい方へも１kg近く強く作用させることができるので、軟らかい畑でも硬い畑でも、しっかりと一定の作用深さで作用させることが可能です。



作用部の荷重範囲　−1kg〜7kg

※草刈るチ（NAK-5，NAK-3）は標準装備

コルタイヤ （特許）

あれっ！？ 横傾斜なのに“草刈るチ”が流れない！！
「コルタイヤ」が“草刈るチ”の横流れを防ぎます

「ちょっとした横傾斜があると草刈るチが流されるから、株間輪やクサトリーナで作物の中心を捉えるのが難しいでしょ。うちの畑じゃ無理だね。」、「横傾斜で草刈るチを作物に合わせて操縦するのは神経を遣うから疲れる。」等、横傾斜の畑で草刈るチのご使用にお困りの方…。その問題点をこのコルタイヤ※1が解消します。コルタイヤをトラクターのタイヤ跡に取り付けて下さい。10°程度※2までの横傾斜なら、まるで平らな畑で操縦するかのように正確な畦合わせが可能となります。
「あれっ？うちの畑ってこんなに平らだったかな？」と思うくらい、コルタイヤがしっかりと草刈るチの横流れを防止してくれます。

※１：型式によりサイズが異なります（ＮＡＫ：１５インチ，ＮＭＫ・ＮＪＫ：１３インチ）、※２：ほ場の土質や水分条件、トラクターの種類等によって変わります。

ＮＡＫ用（１５インチ）

ＮＭＫ・ＮＪＫ用（１３インチ）

≪豆類、ばれいしょの初期除草に最適≫
●チェーン付くまで

豆類・ばれいしょの萌芽前後の除草に最適です。後部にはおもり付チェーンが装着され、均一な作用を提供します。また、チェーンを外すと、小豆の初生葉展開期以降の初期除草にも使用することができます。取り付けは「m・ＡＲＯＴリーナ」のm・ＡＲＯＴリーナフレームユニットに付いているm・ＡＲＯＴアーチと交換するだけですから、畦幅の変更もリンチピンでワンタッチで行えます。また、山の形状に対しては角度調整、土質に対してはバネによる荷重調整等、あらゆる条件に対応することができます。

≪場所を選ばず取付可能≫
●どこでもトレー

カルチ作業において、条件に合わせてアタッチメントを微調整することは非常に大切な事です。でも、機械の近くに調整する工具を保管する場所がないと大変不便です。そんな時は、この「どこでもトレー」をお使い下さい。カルチベーターの型式を問わず、フレームなどに簡単に向きや角度などお好みの状態で取り付けが可能です。機械の近くに工具や安全ボルトを保管できるので、より便利になります。この他にもマルチャー等、角パイプのサイズにさえ合えば、様々な機械に取り付けることが可能です。

≪NJKに工具、安全ボルトを常備できる≫
●スパナホルダー

草刈るチＪｒ．は、ＣＭＳ株間輪や中期用株間クサトリーナなど、作用幅や深さなどの微調整をより必要とするアタッチメントがあり、専用工具もあるのに機械の近くに調整する工具を保管する場所がない。そこで登場したのがこの「スパナホルダー」。この「スパナホルダー」を草刈るチＪｒ．のビームに装着するだけで、必要な専用の調整工具類だけではなく、安全ボルトも常備できるようになります。これで、気付いた時にすぐに工具を取り出して調整できるようになります。

（ＮＭＫは標準装備）

NAK シリーズ

●標準タイプ

■主な装備
●ウィングディスク●ヤナギ刃●ヒョウタン刃●深耕爪●ゴロクラッシャー●CMS株間輪●中期用株間クサトリーナ●m･AROTリーナ

「m･AROTリーナ」は標準装備です

「チェーン付くまで」はオプション装備です

NMK シリーズ

●標準タイプ

■主な装備
●ヤナギ刃●ヒョウタン刃●深耕爪●CMS株間輪●中期用株間クサトリーナ

＊オプション装備品が含まれています（「ウィングディスク」、「ゴロクラッシャー」、「m･AROTリーナ」）

■装備スタイル一覧

ウィングディスク付
ゴロクラッシャー付
m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー付
ウィングディスク、m･AROTリーナ付
ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付

NJK シリーズ

●標準タイプ

■主な装備
●ヤナギ刃●ヒョウタン刃●CMS株間輪●中期用株間クサトリーナ

＊オプション装備品が含まれています（「ウィングディスク」、「ゴロクラッシャー」、「m･AROTリーナ」）

■装備スタイル一覧

ウィングディスク付
ゴロクラッシャー付
m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー付
ウィングディスク、m･AROTリーナ付
ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付
ウィングディスク、ゴロクラッシャー、m･AROTリーナ付

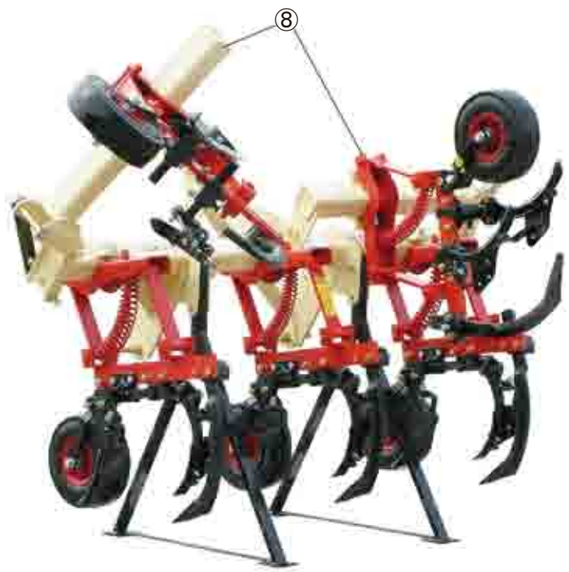
カルチベーター重量比較

数多く型式があるニチノーカルチベーター。装備内容による重量の違いを比較しましたのでご紹介いたします。

全国各地で活躍中 ー 3本爪カルチベーター

長年にわたりあらゆるほ場条件、気象条件のもと使用され、愛され続け、今なお全国各地でご使用いただけているのには理由があります。

① 頑丈なフレーム構造は、長い年月にわたって高い精度を保ち続けます。
② 横ぶれはカルチベーターの命取り。動く部分にはベアリングを使用しているため、長期にわたってガタが発生しません。
③ 畦幅固定は焼き入れボルトを使用してガッチリと締め付ける構造で、耐久性はバツグンです。
④ 独特のカーブドコンプレッションスプリングはトラクターのタイヤ跡が一段と強く、畑面を確実にグリップします。
⑤ 爪先は特殊鋼を熱処理しており、耐磨耗性バツグンです。
⑥ 障害物にぶつかると後方に押し上げられる「逃げ」があり、しかも万が一の時は、安全ボルトが切れるようになっています。
⑦ 波状に、起伏に、傾斜に、平地の鋤分けによる波状にも、常に一定の深度を保ちます。
⑧ 完全折りたたみ（収納時・道路走行時）と半折りたたみ（3畦作業時）どちらもワンタッチで可能です。
⑨ 施肥タンクも装着可能ですが、この場合でも完全折りたたみが可能です。



ほ場条件に応じて選べる豊富なバリエーション

ADK シリーズ

小型トラクターでも管理作業ができる超軽量カルチベーター

カルチベーターの専門メーカーとして信頼性、耐久性、使いやすさを追求した初代トラクター用カルチベーターです。
たった２０馬力のトラクターでけん引できるので、小回りが利き、軽管理作業に最適なカルチベーターです。
＜写真下は5畦処理型、上は3畦処理型＞

Photo:ADK-3

Photo:ADK-5

NCK シリーズ

普及台数No.1のスタンダードカルチベーター

ＡＤＫシリーズよりフレーム強度を２．５倍にすることで、畦間サブソイラーなみに深く中耕できるカルチベーターとしてデビュー。
以来、圧倒的な支持を得ています。
＜写真下は5畦処理型、上は3畦処理型＞

Photo:NCK-3

Photo:NCK-5

NSK シリーズ

石地帯での深耕作業で能力発揮

石れき地帯のみなさまのために安全ボルトの破断強度をNCKに比べて８５％アップさせて誕生した超強力ボディーのカルチベーター。
こんなに頑丈なのにトラクターは３５馬力もあれば十分にけん引できます。
石に衝突してもなんのその。普通の畑のように作業ができます。
＜写真下は5畦処理型、上は3畦処理型＞

Photo:NSK-3

Photo:NSK-5

特別仕様カルチベーター シリーズ（受注生産品）

標準のカルチベーターでは対応できない作物に対応

ＮＣＫのフレームをベースに独特な作付条件の作物に対応したカルチベーターを生産します。
※受注生産品ですので詳しくは担当セールスにご相談下さい。
※仕様によっては対応しかねることもあります。

NCK-43
スイートコーン専用・5本爪タイプで
90～100cmの広い畦幅に対応。

施肥カルチベーター シリーズ

一度に追肥もこなしたい方へ便利な一台

中耕・除草と同時に追肥作業も完了します。施肥部は信頼性の高いタバタ式を採用しています。
また、いずれのタイプも完全折たたみが可能です。

ADKS-5

完全折りたたみ時

作業時

NCKS-5

完全折りたたみ時

作業時

この他
NSKS-5，NSKS-3
NCKS-3，ADKS-3
もご用意しております。

中耕・除草・培土のバリエーションを拡げる10種類の爪　お好みの仕上がりとなる爪をお選び下さい

全て古い年式のカルチベーターにも適合できるよう考え抜かれたアタッチメントです

ニチノーでは、対象作物や用途に合わせて対応できるよう様々な形状の爪をご用意しております。写真は畦間の中心を基準に処理するタイプの爪※1で時速４㎞で処理した時の仕上がり※2です（点線は処理前の地面の位置）。お好みの仕上がりとなる爪をお選び下さい（詳細は中面をご覧下さい）。

※1：表示以外のアタッチメントもございます（次ページ以降に掲載）。　※2：土質、圃場の水分状態、作業深さ、作業速度等で変わります。

コンコルド

ひろく、浅く、美しく！！

●作用幅約２７㎝で、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草

スコッ刃

狭く深い溝で収穫楽チン

●作用幅約１５㎝で、ヒョウタン刃とカスベ刃の中間的土量の土寄せ

カスベ刃

軽い土寄せが可能

●作用幅約２２㎝で、きわめて少ない土量の土寄せ

イーグル羽根（刃先小）

畦間は浅く、根際にしっかり

●畦間は浅く、根際にはしっかりと土寄せが可能
●両脇のゴム板は自在に調整可能
●刃先（大）も装着可能
（仕上がり写真は左ページ左下）

イーグル羽根（刃先大）

畦間は浅く、根際にしっかり

●畦間は浅く、根際にはしっかりと土寄せが可能
●両脇のゴム板は自在に調整可能
●刃先（小）も装着可能
（仕上がり写真は右ページ右上）

フレキシ培土器（刃先小のみ）

土量・形状が自由自在

●４ピース構造で組み合わせやウィングの出し入れで自在に培土量・形状を調整可能
●刃先（大）の選択も可能
●フレキシ培土器の中で、最も土量が少ないスタイル
（他のスタイルによる仕上がりは右２つの写真を参照）

フレキシ培土器（刃先小・ウィング・アッパー装着）

土量・形状が自由自在

●４ピース構造で組み合わせやウィングの出し入れで自在に培土量・形状を調整可能
●刃先（大）の選択も可能
●フレキシ培土器の中で、中間的土量の土寄せが可能なスタイル
（他のスタイルによる仕上がりは両脇の写真を参照）

フレキシ培土器（刃先大・ウィング・アッパー装着）

土量・形状が自由自在

●４ピース構造で組み合わせやウィングの出し入れで自在に培土量・形状を調整可能
●刃先（小）の選択も可能
●フレキシ培土器の中で、最も土量が多いスタイル
（他のスタイルによる仕上がりは左２つの写真を参照）

カルチ　アタッチメント

■コンコルド

●適応年式・型式
S52以降の全型式

ひろく、浅く、美しく！！

●約27cmの幅で浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。
●ボルト1本（付属）でヒョウタンシャンクに取付可能。
●きわめて特殊な材質を使用していますので、耐磨耗性はバツグン。

※ヒョウタンシャンクは付いておりません。

■スコッ刃（意匠）

●適応年式・型式
S52以降の全型式

狭く深い溝で取穫楽チン

●ヒョウタン刃とカスベ刃の中間的土量の土寄せができます。
●ビート収穫時のガイド用溝付けとして、あまり土を寄せずにしっかりとした溝を形成します。
●豆類の仕上げ前の軽い土寄せにも最適です。
●ヒョウタンシャンクに取付可能。

※ヒョウタンシャンク、取付ボルトは付いておりません。

■カスベ刃

●適応年式・型式
S52以降の全型式

軽い土寄せでキレイに仕上げ

●豆類・ビートの仕上げのときにきわめて少ない土量の土寄せができます。
●ヒョウタンシャンクに取付可能。

※ヒョウタンシャンク、取付ボルトは付いておりません。

■イーグル羽根（EW-01）（特許）

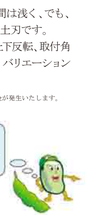
●適応年式・型式
S52以降の全型式

カスベ刃じゃ物足りない、フレキシ培土器じゃぁ大きすぎるという方へ

ヒョウタンシャンクに専用ボルトで取り付けるだけで、カスベ刃のように畦間は浅く、でも、フレキシ培土器のように根際にはしっかりと土を寄せることができる培土刃です。
しかも、取り付け方は上下２通り。そのうえ両脇にあるゴム板は、伸縮や上下反転、取付角度、高さなど付け方が自在です。さらに刃先も大・小２種類※あるので、バリエーション豊富にセッティングが可能です。

※刃先（大）が標準装備です。刃先（小）が必要な場合は別途料金が発生いたします。
※ヒョウタンシャンクは付いておりません。

畦間は浅く、根際はしっかり土寄せ！
大きく成長した僕たちが倒伏しづらくて、
とってもイー（グル）羽根だよ!!



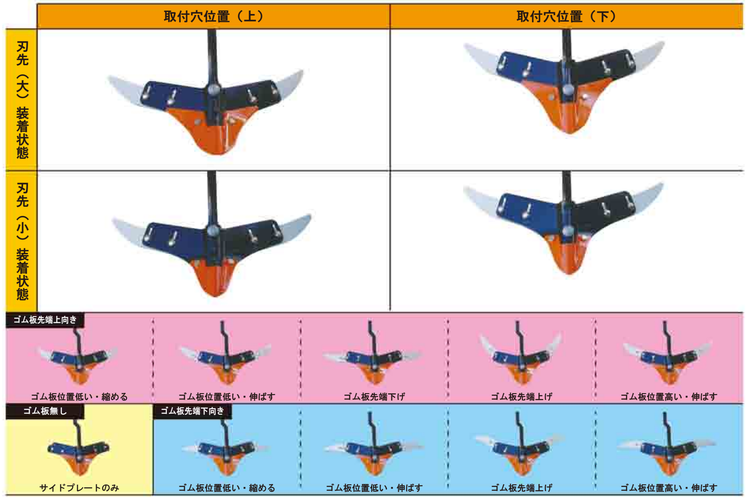
お手持ちのヒョウタンシャンクに簡単に取付可能。

主羽根には上下２つの取付穴があります。

刃先は大・小２種類あります。（大が標準装備、小は別途ご購入下さい。）

ゴム板にはバネ鋼が入っていて、しっかりと土を寄せていきます。

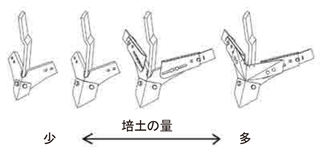
ゴム板の裏側のサイドプレートは、ゴム板とは別に調整可能。



■フレキシ培土器（FR-01）（特許）

●適応年式・型式：S52以降の全型式
※NC、NSシリーズで深耕爪を併用する場合は深耕チャックが必要です。

お好みの土量、形状に仕上げる調整自在な培土器



名前の由来のとおり、フレキシブル（自在）に培土量と山形状を調整できるのには、当社ならではの工夫があります。
図のように目盛り付ウィングは、目盛りに従って出し入れをすれば土量調整が簡単に行えます。また、そのウィング先端に付いているゴム板は、３段階に角度調整が可能となっているので土の逃がし方も簡単に調整できます。さらに４ピース構造で、しかも大小２種類の刃先※が取付可能なので組み合わせ方しだいでは用途の幅が一段と拡がります。
まさにご使用になる方の思いのままに調整できる画期的な培土器です。

※ご購入の際に大小いずれかの刃先をお選び下さい。

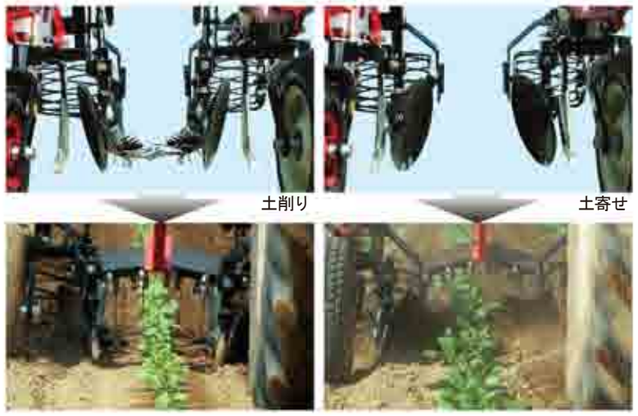
■主な適応処理作業
◎小豆の仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎大豆の仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎菜豆類の仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎ビートの仕上げ作業（畦幅60cm以上）
◎ばれいしょの仮培土（畦幅66～75cm）

■ウィングディスク

●適応年式・型式
S５２以降の全型式

幼少期の作物のカルチ作業が一変！

従来の爪では不可能だった「土削り」、「土戻し」を可能にし、カルチ作業による作物への覆土を防ぎます。



取り付け、調整はすべてボルト1本で行える

●ヤナギ刃からの交換も…
●「土削り」、「土寄せ」の組み替えも…
●深さ調節も…
●ディスクの角度調節（約１４°）も…
●作用幅の変更も…

さらにウィングディスクによる効果は…

●「土削り」は、根際にカドを作るので除草クリーナーの効果を高めます。
●「土削り」は、根際の土を動かさないので土壌処理剤の効果を長く持続させます。
●「土削り」は手取り除草の能率を大幅に高めます。
●作物に土をかけないので、ビート、豆類の初期除草用として最適です。
●「土寄せ」は作物に上からソフトに土をかぶせるので、ばれいしょの萌芽期培土に最適です。

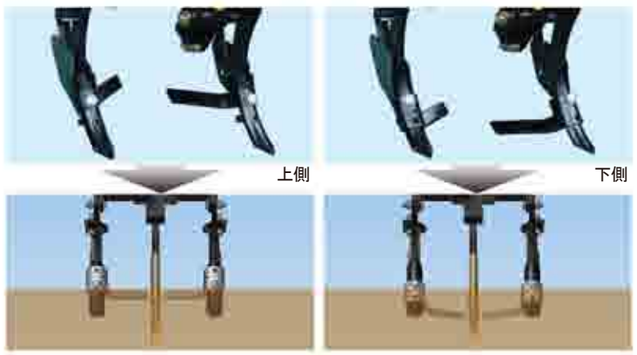
※草刈るチ（NAK-5，NAK-3）は標準装備

NEW ■やなブレード

●適応年式・型式
S５２以降の全型式

畦間の中耕・除草効果がアップ

ヤナギ刃に取り付けるだけで、畦間の中耕・除草効果が上がります。



●付属の専用ボルトで簡単に取り付け可能。
●取り付け位置は上下２段階。
●上側に取り付けると、畦間の表層近くに作用し、除草効果が上がります。
●下側に取り付けると、畦間の深い位置で作用し、畦間をより膨軟にします。

■やすみば式ジョソウクリーナー（H5）

●適応年式・型式
S５２以降のAD，NC，NSシリーズ

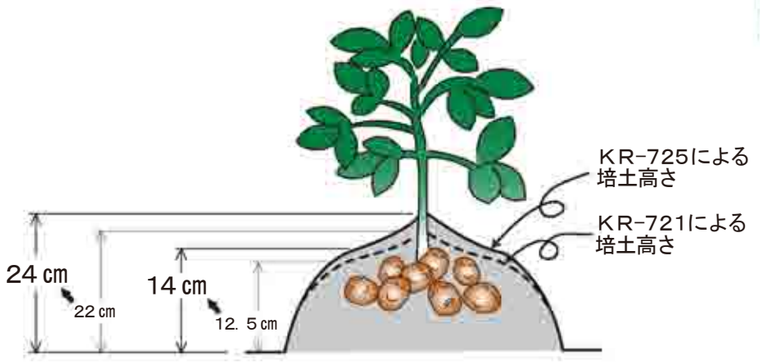
AD，NC，NSシリーズに手軽に取り付け可能

AD，NC，NSシリーズに手軽に取り付けができる除草アタッチメントです。

■カマボコ培土器（KR-725）

●適応トラクター：33kW{45PS}以上　●適応畦幅：66～75cm
●適応カルチベーター：ニチノー　NC，NS，NM，NAシリーズ

カマボコ培土器（ＫＲ－７２５）は、ニチノーの今までの培土器（ＫＲ－７５，ＫＲ－７２，ＫＲ－７２１）の良い所を凝縮した慣行時期培土器の決定版です。従来よりばれいしょの生育範囲を大きく保つために山を高く、また窒息しないように柔らかく、しかし崩れないようにしっかりとしたカマボコ型をプラスチック製こすり鎮圧板できれいに形成します。しかも、ラバープレートが根際までしっかりとソフトに土を寄せるので、てっぺんには凹みができず、水が溜まることによる緑化イモの発生を防ぎます。そのうえ適応畦幅が６６㎝～７５㎝と幅広く、培土後の溝幅も１２㎝と広いため、管理作業で畦間に入る必要が多い方に最適です。



なぜ培土器はカマボコ型がいいのか…？

ばれいしょの培土に定評の「カマボコ培土器」・「早慣カマボコ培土器」ですが、なぜカマボコ型の培土器がいいのでしょうか。

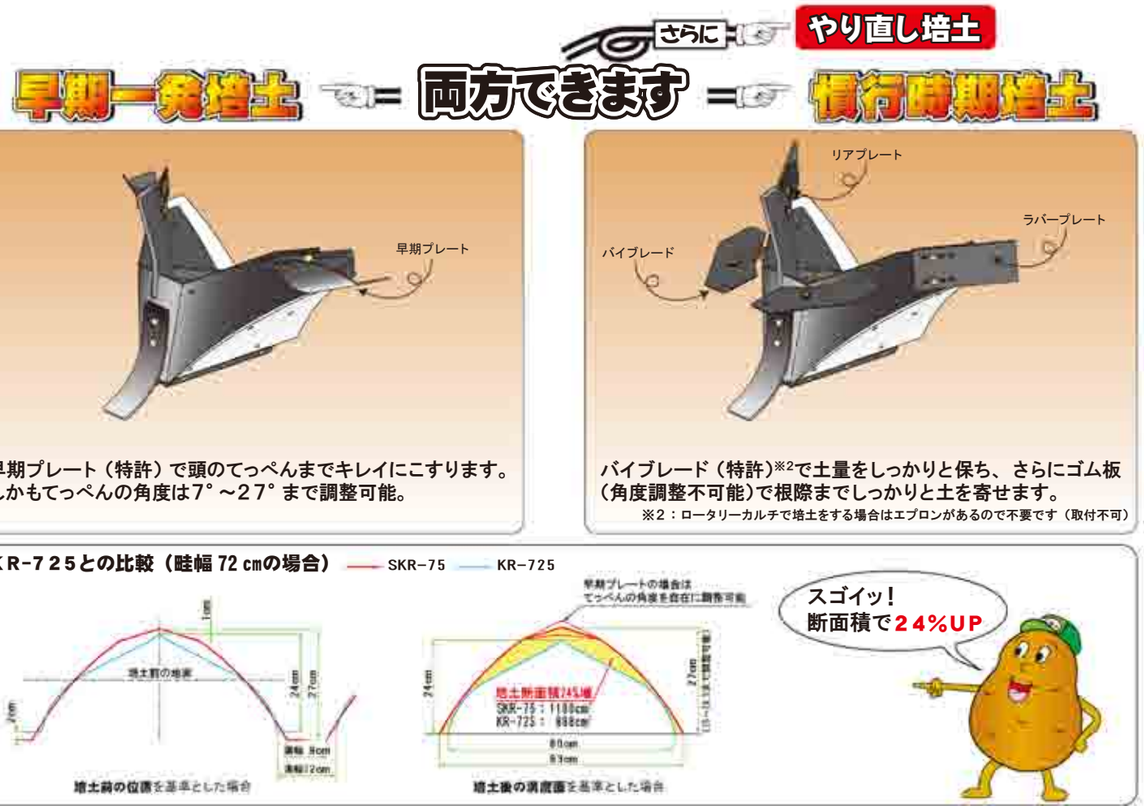
1．培土容積が大きいのに崩れにくいので、ばれいしょが生育する範囲にゆとりがあります。
2．適応畦幅が広く、また早期培土、慣行時期培土とお客さまのニーズに合わせて対応します。
3．「ニチノー」カルチベーターとの相性はバツグン！！特に、「草刈るチ（NAK）」と絶妙のコンビネーションで安定した培土を提供します。
4．コバシ「中耕ローター」と専用アダプターを使えば、土塊の少ないロータリー培土もできます。

■早慣カマボコ培土器（SKR-75）（意匠）

●適応トラクター：33kW{45PS}以上　●適応畦幅：72～75cm
●適応カルチベーター：ニチノー　NC，NS，NAシリーズ

早慣カマボコ培土器（ＳＫＲ-７５）は、従来のカマボコ培土器（ＫＲ-７２５）より培土量が格段に多くなり、またアタッチメントを付け替えるだけで、「慣行時期培土」はもちろん、ロータリーカルチ※1を使用しての「早期一発培土」、さらには培土後の表面に発生してしまった地割れや崩れてしまった山を修復する「やり直し培土」等、あらゆる時期や条件に応じて使用できる培土器です。ただし、適応畦幅が７２㎝以上となっておりますので、７２㎝未満の畦幅の場合はＫＲ-７２５をご使用下さい。

※1：ロータリカマボコアダプターが必要となります。



●早期培土と慣行時期培土……どちらが適している？

早期培土は省力化、品質の向上、収穫時の土塊の減少などが期待されておりますが、品種によって早期培土と慣行時期培土のどちらが適しているかといった疑問があるかと思われます。そこで、品種による早期培土と慣行時期培土の違いを調べた資料があるのでここに紹介させていただきます。

表1．生育収量の比較（北海道立十勝農業試験場、平成16年～平成18年の平均）

品種	培土法	萌芽期	枯凋期	茎数（本／株）	早掘り（g／株）	慣行比（%）	1個重（g）	イモ数（個／株）	規格内重（kg／10a）	慣行比（%）	規格内率（%）	S規格（%）	緑化（%）
男爵薯	慣行	5月 28日	9月　3日	4.2	387		89	11.3	3840		87	12	1
	早期	6月　2日	9月　5日	3.6	421	108	92	10.7	3820	100	88	11	1
ワセシロ	慣行	5月 29日	8月 30日	3.6	314		105	9.5	3802		87	8	1
	早期	6月　1日	8月 30日	2.3	402	134	125	8.3	4022	106	87	4	1
メークイン	慣行	5月 30日	9月　7日	4.7	269		74	13.2	3196		74	21	3
	早期	6月　2日	9月　5日	3.9	340	126	83	12.1	3553	111	80	15	2
トヨシロ	慣行	5月 31日	9月　9日	3.5	364		112	9.2	3990		89	8	1
	早期	6月　4日	9月　8日	3.0	407	112	107	9.5	4117	103	92	7	1
さやか	慣行	5月 31日	9月 15日	3.0	289		117	9.5	4646		94	6	0
	早期	6月　4日	9月 15日	2.1	397	142	129	8.7	4687	101	94	4	0
スノーデン	慣行	5月 29日	9月 21日	4.0	174		95	11.5	4233		89	8	3
	早期	6月　2日	9月 19日	3.3	239	147	116	9.1	4365	103	93	4	2
ホッカイコガネ	慣行	6月　2日	9月 26日	3.4	220		124	10.0	4768		88	7	2
	早期	6月　5日	9月 25日	2.9	283	137	133	8.6	4406	93	87	6	2

注意）早掘り：（開花期のほぼ10日後）のいも重（２kg以上）、規格内重：「男爵薯」、「ワセシロ」、「メークイン」は60～260g、その他の品種は60～340g、S規格：60ｇ未満

上の表をご覧いただくと早期一発培土の方が良いように思われるかもしれませんが、ニチノーはどちらが良いとは断言できないと考えております。なぜなら、表２にもあるように、この表は淡色黒ボク土だけでの試験結果であるからです。
ですから、ばれいしょを栽培するほ場の土質や水分、その年の天候、その時の栽培品種など、さまざまな条件によって、その都度、早期一発培土法が適していたり、慣行培土法が適していたりと変わると考えております。
つまり、早期一発培土と慣行時期培土の使い分けが大切だと考えております。
左の「早慣カマボコ培土器（ＳＫＲ-７５）」であれば、早期一発培土、慣行時期培土、そのうえやり直し培土などあらゆる時期の培土に適応できるので、ご使用になる方の判断で最適な培土を提供できることをお約束いたします。
なお、早期培土をする場合の概要を参考までに表２でご紹介いたします。

表２．早期培土栽培の生産技術体系の概要と栽培特性

作業名	時期	内容
施　肥・植　付	4月下旬～5月中旬	・慣行栽培に同じ ・多湿黒ボク土、細粒質褐色低地土で植付時耕盤砕土が有効
培　　土	5月下旬～6月上旬	・砕土装置付培土機を使用（萌芽期まで）
除草剤散布	5月下旬～6月上旬	・培土後萌芽前散布（土壌水分が適度にある時に散布する）
管　理　作　業	6月上旬～9月中旬	・中耕作業は行わない（２時間／ｈａ程度の短縮） ・除草剤の効果が得られなかった場合には、乗用管理機による機械除草が可能 ・病害虫防除は慣行栽培に同じ
収　穫　作　業	8月下旬～10月上旬	・土塊混入量が減少、作業能率向上（２時間／ｈａ程度の短縮）
慣行栽培に対する生育特性（淡色黒ボク土）		・萌芽期が遅れるが、初期肥大が優る ・上いも数が同等か少なくなり、１個重は同等か大きくなる ・規格内重および規格内率は同等か優る ・１個重が比較的小さい品種およびストロンが長く緑化が発生しやすい品種で規格内率が高まる

表１，２出典）北海道立十勝農業試験場、ばれいしょ早期培土栽培の生産性向上技術（高品質ばれいしょ生産を目指した省力培土・収穫技術）（2007）

●培土のタイミングに気をつけましょう

培土作業をする際には、ほ場の水分状態と培土時期の天候状態に注意をして行ないましょう。
- 培土時のほ場は適度に水分がある方が良いですが、水分がありすぎると培土表面が乾いた時、表面にひび割れが起きる危険性が高くなります（ひび割れは緑化イモの発生の原因となります）。
- 降雨が近い時期の培土はやめましょう。培土後、培土した土が安定するまでに数日かかります。培土後にすぐに雨に叩かれると、表面にひび割れが発生しやすくなります。

カルチ　アタッチメント

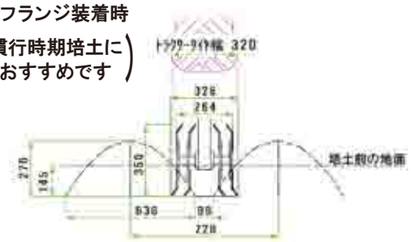
■ロータリーカマボコアダプター

●適応機種：コバシ 中耕ローターシリーズ
<K300・500, K302・502, K305・505, V300N・500N>

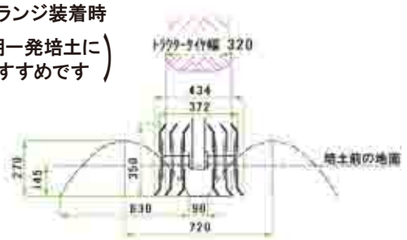
コバシ「中耕ローター」シリーズにアダプターを取り付けるだけで、カマボコ培土器がロータリーカルチにも使用でき、土塊の少ないロータリー培土ができる。「中耕ローター」が土壌を細かく粉砕するので、土質や水分状態に左右されず、慣行時期培土はもちろん、早期一発培土まで低コストで行なえます。しかもカマボコ培土器が砕きたての土を高く、柔らかく、崩れないように最高の仕上がりを提供します。さらに収穫の際、ハーベスターのコンベヤ上に土塊が上がらないので収穫作業の能率アップにも大きく貢献します。

コバシ ハイパーカルチ V500N装着時　「ハイパーカルチ」がトラクターの踏圧で出来た硬盤層をしっかりと砕くので、硬い土壌層のないソフトな培土ができます。使用する時期に応じて作用幅（フランジの枚数）を変えるとより効果的な培土が行えます。

2フランジ装着時
（慣行時期培土におすすめです）



3フランジ装着時
（早期一発培土におすすめです）



ストロンを傷つけないためにも生育状況に合ったフランジ枚数で作業されることをお薦めします。また「ハイパーカルチ」の使用に際しては、「ハイパーカルチ」の取扱説明書をお読みになってからご使用下さい。

■装備一覧

●＝標準装備
○＝選択装備（別途料金が発生いたしません）
△＝注文装備（別途料金が発生いたします）

	NAK-5	NAK-3	NMK-5	NMK-3	NJK-5	NJK-3	NCK-5	NCK-3	NSK-5	NSK-3	ADK-5	ADK-3	NCKS-5	ADKS-5
■フレーム・ヒッチ系統														
ワンタッチロック式軽々ツイストフォルダー	●													
3ポジションロック式軽々フォルダー			●		●									
ヒンジピン（松葉ピン付）			●(2)		●(2)		●(4)		●(4)		●(2)		●(4)	●(2)
ヒンジストッパー							●		●		△		●	△
ロワーリンクワンタッチヒッチ	●	●												
■ビーム系統														
可変2ステージサスペンション（スペーサー付）	●	●												
マルチアジャスタブルサスペンション			●	●	●	●								
ねじクランプ	●	●												
ロータリースペーサー付チャックブラケット	●	●												
ホイールブラケット	●	●												
ブラケット							●	●	●	●	●	●	●	●
深耕チャック			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
深耕チャック（極太）*1			△	△					●	●				
■中耕・深耕・培土系統														
ヤナギ刃（スライドシャンク・足・ウィング付）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
やなブレード（ボルト付）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
ヒョウタン刃（足付）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
深耕爪（土塊減少型・中太）<2ピース式>	●	●												
深耕爪（W100）<2ピース式>	△	△												
深耕爪			●	●			●	●	△	△			●	
深耕爪（極太）			△	△					●	●				
ゴロクラッシャー*2	●	●	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
ウィングディスク（スライドシャンク付）	●	●	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
コンコルド（ボルト付）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
カスペ刃	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
スコッ刃	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
イーグル羽根（EW-01）（ボルト付）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
フレキシ培土器（FR-01）	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
カマボコ培土器（KR-725）	△	△	△	△			△	△	△	△			△	
早慣カマボコ培土器（SKR-75）	△	△	△	△			△	△	△	△			△	
■株間除草系統														
CMS株間輪<非粘土地用>	●	●	●	●	●	●								
CMS株間輪トガリ爪<粘土地用>	○	○	○	○	○	○								
中期用株間クサトリーナ（除草クリーナー付）	●	●	●	●	●	●								
m・AROTリーナ	●	●	△	△	△	△								
チェーン付くまで	△	△	△	△	△	△								
やすみば式ジョソウクリーナー（H5）							△	△	△	△	△	△	△	△
■足廻り系統														
フリーホイールアジャスター	●	●	●	●	●									
タイヤスクレッパー	●(3個)	●(1個)	●(3個)	●(1個)	●(3個)	●(1個)	△	△	△	△	△	△	△	△
8インチ 大径タイヤ	●(3個)	●(1個)	△	△	△	△								
コルタイヤ	△(15インチ)	△(15インチ)	△(13インチ)	△(13インチ)	△(13インチ)	△(13インチ)								
■付属品・その他														
標準安全ボルト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
専用スタンド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	
専用スタンド用キャスターホイール	△	△					△	△	△	△			△	
大リンク用カラー	●	●												
畦幅アジャスター	●	●												
ねじクランプ用スパナ	●	●												
調整用スパナ	●	●	●	●	●	●								
CMS調整用板ラチェットレンチ	●	●	●	●	●	●								
スパナハンガー	●	●												
スパナホルダー			●	●	△	△								
どこでもトレー	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

■主要諸元

品名	カルチベーター													
愛称	草刈るチ		草刈るチmid.		草刈るチJr.		3本爪カルチ							
型式	NAK-5	NAK-3	NMK-5	NMK-3	NJK-5	NJK-3	NCK-5	NCK-3	NSK-5	NSK-3	ADK-5	ADK-3	NCKS-5	ADKS-5
規格	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	3畦	5畦	5畦
処理畦数	4	2	4	2	4	2	5	3	5	3	5	3	5	5
適応トラクター（kW{PS}以上）	33{45}	26{35}	26{35}	20{27}	20{27}	15{20}	20{27}	15{20}	26{35}	20{27}	15{20}	11{15}	20{27}	15{20}
カテゴリー	Ⅰ，Ⅱ*3													
装着方法	3点直装													
全長*4（mm）	1,160		1,055		1,010		810		950		790		1,500	1,450
全幅*4（mm）	3,266	1,690	3,200	2,060	3,200	2,060	3,190	1,775	3,190	1,775	3,190	1,775	3,190	
全高*4（mm）	1,300		1,100		1,150		1,050		1,075		1,105		1,325	1,340
重量*4（kg）	430	243	310	196	200	118	295	180	319	197	220	135	378	303
自動高低ストローク（mm）	250		235		245		125		115		155		125	155
最高作業深度（mm）	380		380		—		380		430		—		380	—
適応作業畦幅*5（mm）	600～750													
作業能率（a/h）	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	80～190	40～110	50～100	50～100
施肥箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	

＊3：ロワーリンクピンは小リンクが標準です。大リンクをご希望のお客様はあらかじめ担当セールスにお申しつけ下さい。＊4：NAK・NMK・NJKはフレーム単体のときの値です。装備内容によっては変化いたします。それ以外の型式はアタッチメントを含めた値です。＊5：CMS株間輪の適応畦幅は600～690mmの範囲となっております。畦幅700mm以上でCMS株間輪をご使用になる場合、CMS株間輪は特別仕様となりますので、あらかじめ担当セールスにお申し付け下さい。

■アタッチメント重量*6（kg）

ヤナギ刃（スライドシャンク・足・ウィング付）	8.4	深耕爪（W100）<2ピース式>	5.5	ゴロクラッシャー（大）	12.2	イーグル羽根（足無）	2.0	CMS株間輪トガリ爪	12.6
やなブレード	0.8	深耕爪	3.5	ゴロクラッシャー（小）	12.0	フレキシ培土器	5.3	中期用株間クサトリーナ（除草クリーナー付）	1.8
ウィングディスク（スライドシャンク付）	11.6	深耕爪（極太）	5.6	コンコルド（足無）	1.6	カマボコ培土器	11.1	m・AROTリーナ	19.0
ヒョウタン刃（足付）	2.8	ゴロクラッシャー（NAK専用－大）	13.2	カスペ刃（足無）	0.7	早慣カマボコ培土器	15.0	チェーン付くまで	9.6*7
深耕爪（土塊減少型・中太）<2ピース式>	5.4	ゴロクラッシャー（NAK専用－小）	13.0	スコッ刃（足無）	0.8	CMS株間輪	11.6	やすみば式ジョソウクリーナー（4畦処理分）	14.0

＊6：各アタッチメントの1畦処理分の重量です。各作業時における重量計算の参考データとして下さい。＊7：チェーン専用のおもり4個分が含まれています。

いつでも、どこでも、だれでも、ピタッと畦（ROW）のど真ん中!!

AROT Automatic Row Tracer がもたらす ビート収穫　異次 元の世界!!

傾斜地で大活躍！４３０シリーズ

広大な畑で大活躍！６６０シリーズ

★掘り取り中は常に畦のど真ん中

ＳＦＩＡ式畦合わせセンサーが常にビートの列を感知して、掘取口が畦の真ん中にくるように合わせてくれます。「オペレーターは後ろを気にせず、トラクターを畦に沿って走らせるだけ」でビートをらくらく収穫。

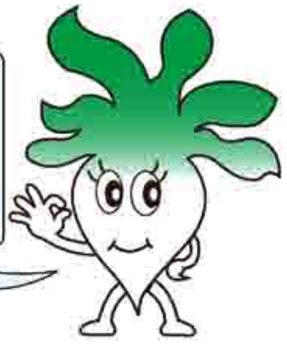
★旋回中に掘取口を自動修正

つぎの畦に入った時に掘取口が畦に合っていない、後ろを見ながら手動で調整する。こんなめんどうな操作が一切不要!!ロワーリンクを上げると同時に「ＡＣＴＲＥＳ」が掘取口を真ん中に自動修正してくれます。ですから、オペレーターは「ＡＳＣＳ」を使って『くる』っと旋回してつぎの畦に入れば、掘取口は見事なまでに畦の中心に合っています。

★コンベヤのＯＮ・ＯＦＦ操作は一切不要

掘り取り終了後、コンベヤ内に残るビートをタンク内に運びきったと同時にコンベヤが自動停止。さらに、掘り取り開始直前に自動的に回り始めます。

AROT & ASCSのすべてのモードを「自動」・「全自動」にしてしまえば、あなたはただ前を見てトラクターを畦に合わせて走らせるだけ！
あとはピタROWくんがビートを楽チン収穫してくれます。



ビートハーベスター

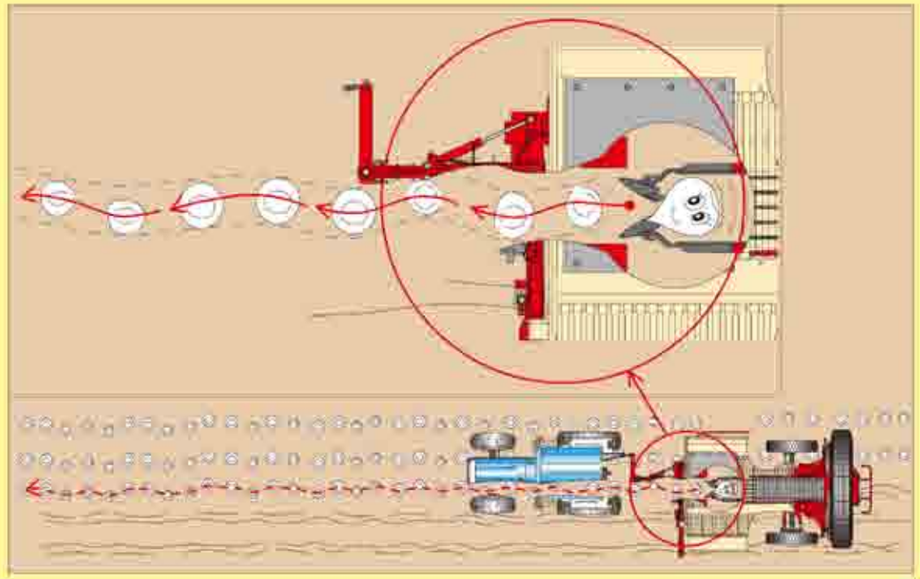
AROT

掘り取り作業中は常に畦のど真ん中！畦合わせ操作不要！！

SFIA式畦合わせセンサーが常にビートの列を感知して、掘取口が畦の真ん中にくるように合わせてくれます。「オペレーターは後ろを気にせず、トラクターを畦に沿って走らせるだけ」でビートをらくらく収穫。

自動　手動

畦合わせモード



従来のAROT未搭載機の場合、オペレーターはトラクターをビートの列に合わせて走らせながらハーベスターの掘取口をビートに合わせるため、後ろも見る必要がありました。ですから、常に前後を確認しつつトラクターを運転する技術と集中力が必要で、オペレーターの体への負担、精神的な負担は非常に大きなものでした。
でも、AROT搭載機の場合、SFIA式畦合わせセンサーがハーベスターの掘取口を常にビートの列に合わせてくれるので、オペレーターは後ろを気にせず、前を見てトラクターをビートの列に合わせて走らせることに集中でき、体への負担、精神的な負担は非常に軽減されます。

ACTRES

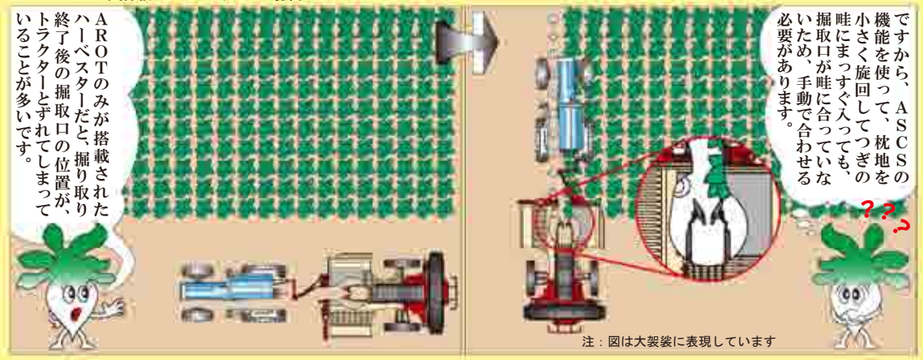
旋回中に掘取口を自動修正

AROTのみ搭載のハーベスターだと、畦に入った時に掘取口が畦に合っていないことが多く、掘取口を畦に合わせる操作が必要。でも、ACTRES搭載ハーベスターだと、畦合わせ操作不要。掘り取り終了後、掘取口の位置を自動修正してくれるので、畦に入ると掘取口が畦に合っています。

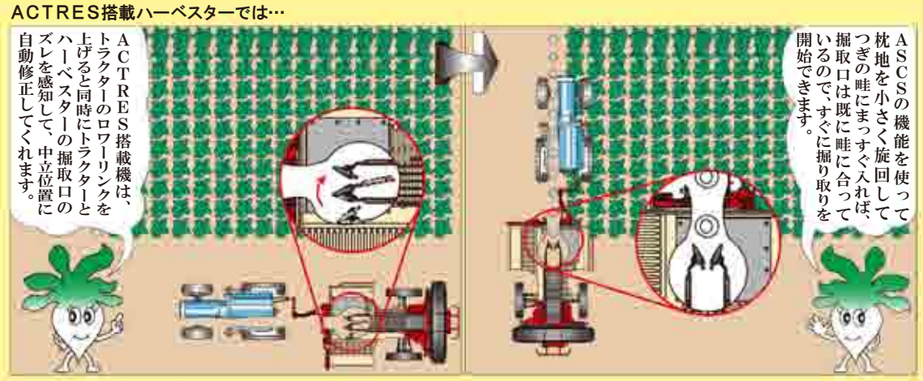
自動　手動

畦合わせモード

ACTRES未搭載ハーベスターの場合は…



ACTRES搭載ハーベスターでは…



COOS

コンベヤのON・OFF操作は一切不要

掘り取り終了後、コンベヤ内に残るビートをタンク内に運びきったと同時にコンベヤが自動停止。　さらに、掘り取り開始直前に自動的に回り始めます。

従来のAROT未搭載機の場合、コンベヤを回す・止める操作はオペレーターが操作ボックスで行っていました。された方もいらっしゃると思います。でもピタROWくんの場合、ロワーリンクを上げるとCOOSが掘り取り終了をコンベヤを回してくれます。ですから、コンベヤを回す・止めるといった煩わしい操作が一切必要ありません。
そのため止め忘れや掘り取り開始直前の回し忘れがありました。コンベヤを回し忘れて掘り始めて掘取口の前にビートが溜まって大変な経験を感知し、コンベヤ内に残っているビートをタンクに運び切ってから止まります。また、ロワーリンクを下ろすと同時に掘り取り開始を感知して、自動的に

自動　手動

畦合わせモード

自動　OFF　ON

コンベヤモード

＜掘り取り終了後＞

ロワーリンクを上げると…　ビートをタンクへ運んでからコンベヤが停止

＜掘り取り開始＞

ロワーリンクを下げると…　コンベヤが自動的に回転

ビートハーベスター

くるっと旋回ピタッと収穫　けん引式とは思えない抜群の機動性!!

単なるパワーステアリングとは全く違うASCS Automatic Steering Control System の5つの魅力!!

注：写真は端の１本の収穫風景です（機体を斜めにして掘っています）

★まるで逆位相タイプの４WS
（タイヤ角モード「全自動」）

枕地でらくらく旋回！しかも操作は全く不要！！ハーベスターのタイヤを切る、真っ直ぐに戻す、という作業はヒッチ角センサーとタイヤ角センサーの見事な連携プレーで自動的に行われます。ですから、オペレーターは前を見てトラクターをつぎの畦に合わせて入るだけ。

★土場に降ろしたビートを踏まずに脱出
（タイヤ角モード「半自動」）

レバー操作を1回行うだけで、後はタイヤ角センサーが自動的にタイヤをいっぱいに切ってくれます。もちろん、真っ直ぐに戻す時も同様にレバー操作を１回行うだけです。

★端の１本もらくらく収穫
（タイヤ角モード「手動」）

従来のハーベスターでは土手際等の端の１本は手で掘るのがあたり前。でも、ASCSが備わっていれば、ハーベスターを斜めにけん引できるのでハーベスターで収穫するのがあたり前。

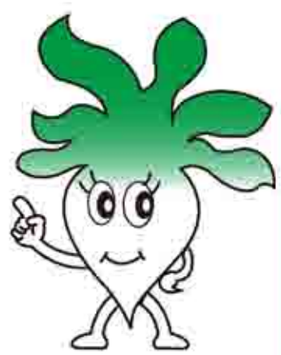
★傾斜地での横流れを防止
（タイヤ角モード「手動」）

ハーベスターのタイヤをちょっと山側に向けておけば、１２°位の傾斜まで収穫作業が行えます。

（※ただし、土質や土の水分条件、トラクターの種類等によって変わります。）

★バックも右へ左へ自由自在
（タイヤ角モード「手動」）

「けん引式のバックは面倒である、難しい」という概念をくつがえします。タイヤが右へ左へ自由自在に切れるのでねらった方向へ簡単にバックできます。



ビートハーベスター

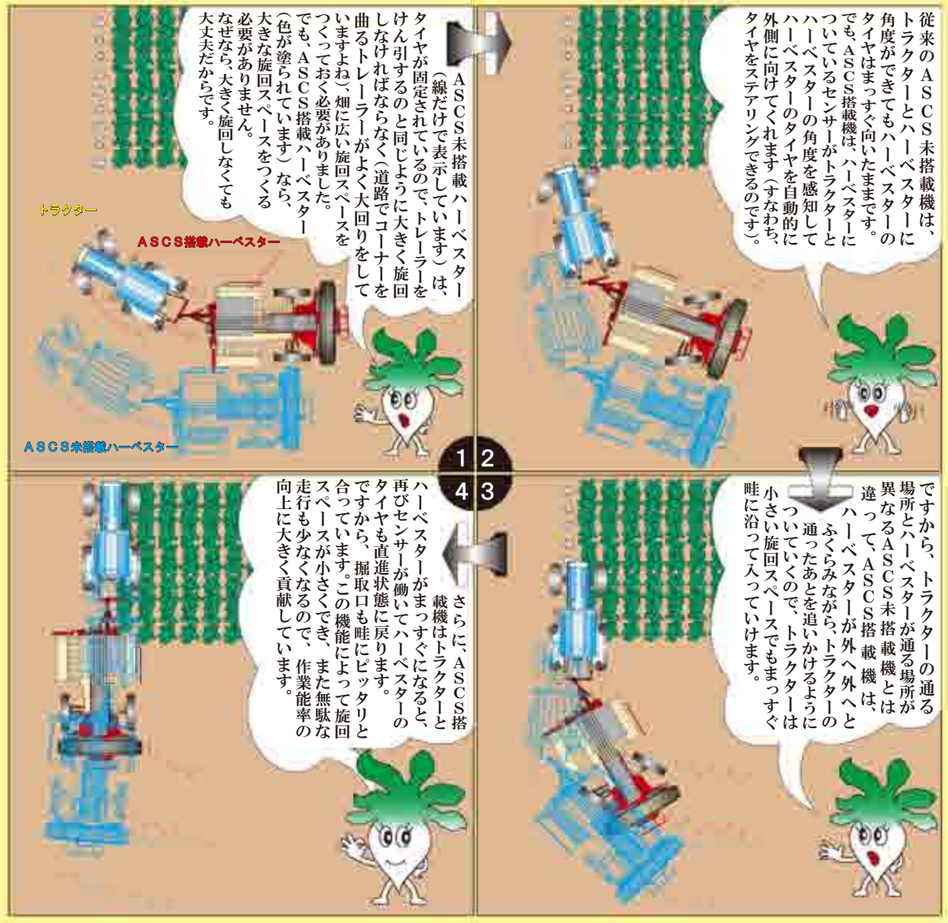
ASCS

まるで逆位相タイプの4WS！操作不要で枕地らくらく旋回！！

枕地でらくらく旋回！しかも操作は全く不要！！ハーベスターのタイヤを切る、真っ直ぐに戻す、という作業はヒッチ角センサーとタイヤ角センサーの見事な連携プレーで自動的に行われます。ですから、オペレーターは前を見てトラクターをつぎの畦に合わせて入るだけ。

全自動 手動 半自動

タイヤ角モード



レバー操作1回で土場のビートを踏まずに脱出

レバー操作を1回行うだけで、後はタイヤ角センサーが自動的にタイヤをいっぱいに切ってくれます。もちろん、真っ直ぐに戻す時も同様にレバー操作を1回行うだけです。

全自動 手動 半自動

タイヤ角モード

ビートハーベスター

端の1本もらくらく収穫

従来のハーベスターでは端の１本は手で掘るのがあたり前。でもＡＳＣＳが備わっていれば、ハーベスターを斜めにけん引できるのでハーベスターで収穫するのがあたり前。

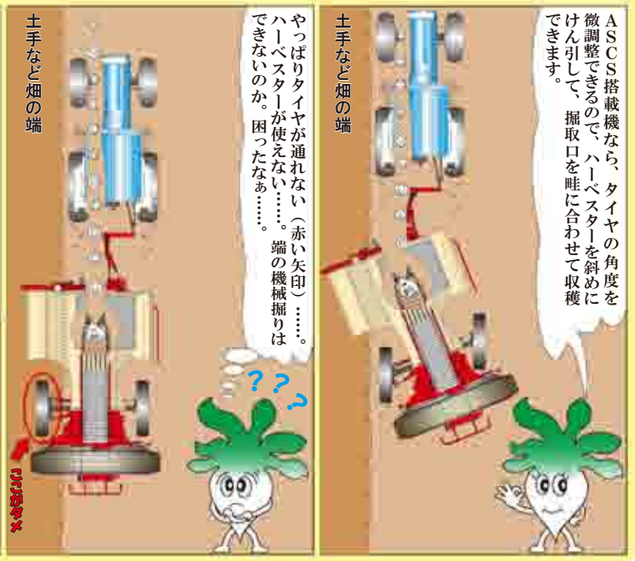
（※作業前にLタイプではタッパーと右側のコルター、Rタイプは左側のコルターを上げる必要があります。）

全自動 手動 半自動

タイヤ角モード

ASCS未搭載ハーベスターの場合は…

ASCS搭載ハーベスターでは…



傾斜地での横流れ防止

ハーベスターのタイヤをちょっと山側に向けておけば、12° 位の傾斜まで収穫作業が行えます。

（※ただし、土質や土の水分条件、トラクターの種類等によって変わります。）

全自動 手動 半自動

タイヤ角モード

バックも右へ左へ自由自在

「けん引式のバックは面倒である、難しい」という概念をくつがえします。タイヤが右へ左へ自由自在に切れるのでねらった方向へ簡単にバックできます。

全自動 手動 半自動

タイヤ角モード

ＡＳＣＳを搭載しているビートハーベスターだと、旋回もバックもまるでトラクターだけを運転しているように楽チンだから、ついついハーベスターをけん引していることを忘れてしまうね！

ビートハーベスター

過酷な使用条件もへっちゃら…強靭なボディー！
ライバルが見当たらない…高い完成度！！

410TURBOの真髄を受け継いだ3つの魅力!!

★はやい

綿密に計算されたコンベヤ幅、コンベヤ速度等により最高速度15㎞/hという驚異的な作業速度を実現しました。

（※ただし、土質や土の水分条件、トラクターの種類等によって変わります。また、タッパー付の機種は速度が上がる程タッピング精度が低下する傾向があります。）

★こわれない

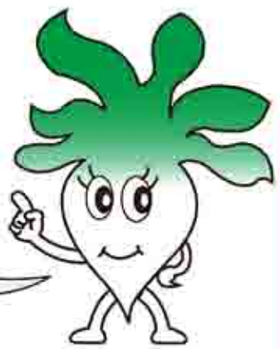
機体はコンピューターをフルに使って強度計算し尽くして設計されており、さらに石れき地帯を想定した過酷な実験にも耐え抜いているため、故障知らずの頑丈ボディです。
しかも、既に6，500台以上もの数多くのユーザーの方々によって、実証していただいております。

★こぼれない・もたつかない

上昇コンベヤはPTOが低回転時にも、こぼれの発生しないロータリーバケット方式を採用しました。しかも、単なるロータリーバケットとは違います。
トルクアジャスターにより、ロータリーバケット方式の大きな欠点といわれる「雨天時のスリップ」を見事に解消しました。

1983年にデビューした初代オリジナルビートハーベスター
410TURBOは、今も活躍しております。
まさしく「こわれない」※ビートハーベスターです。

※消耗部品の交換は行っていただくことが前提です。なお、消耗品は現在も互換性を持たせています。



Electrical Parts

（型式により装備内容は変わります。詳しくは装備一覧をご覧下さい。）

●操作ボックス（小型軽量・取付角度自在）（特許）

「ビタＲＯＷくん」への命令はすべてこの操作ボックスで行います。すべての切替スイッチを『自動』モードにしてしまえば、その後の操作は一切無用ですが、畦合わせやタイヤ角操作をジョイスティックタイプにしていますので、『手動』の場合でも操作性はバツグンです。しかもコンパクトかつ軽量で、ボックスの角度は無段階に調整できるうえ、方向も反転できるので、トラクターへの取付位置に応じて、お客様のお好みに合わせて最適な状態でセットできます。もちろんマグネット式でワンタッチ着脱ＯＫです。また、吸盤付操作ボックス台が付属されているので、ガラス面への取り付けも可能です。

水平取付状態　垂直取付状態

●超小型AROT制御ボックス

ＡＲＯＴの機能を凝縮したコンパクトな制御ボックスには、防塵・防水タイプを採用していますので雨中の作業やドロだらけになってもへっちゃらです。

●RVヒッチ角センサー（特許）

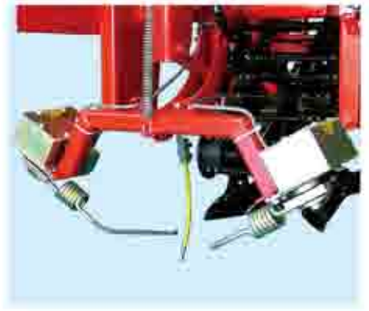
ＲＶ(Return timing Variable) ヒッチ角センサーがトラクターとハーベスター本体の折れ角をセンシングして右へ、左へとタイヤを動かす命令を出します。また、旋回速度に合わせて旋回後のタイヤの戻るタイミングを３段階に調整可能です。密閉式のため、雨風にもへっちゃらです。さらにコンパクトな構造ですのでオペレーターの視界の妨げになることもありません。

●タイヤ角センサー

ハーベスターのタイヤの切れ角をセンシングして右、左、真ん中でピタッと停止させます。密閉式のためドロだらけになってもへっちゃらです。

●SFIA式畦合わせセンサー（特許）

ＳＦＩＡ(Semi Floating Independent Antenna) 式畦合わせセンサーは、独立反応する左右それぞれの「く」の字形ロッド、スプリングサポート平行リンクサスペンションを備えているので、畦の凹凸はもちろんのこと、傾斜地等あらゆる条件のほ場でも絶妙な感度を保ち、何もしなくても掘取口を畦の真ん中に合わせてくれる、調整が一切不要のセンサーです。



●ACTRES（特許）

ＡＣＴＲＥＳ(Auto Center Return System) は、掘り取り終了後、ロワーリンクを上げると同時に畦合わせシリンダーが自動的に働き、掘取口を真ん中に戻します。したがってトラクターはつぎに掘り取る畦に真っ直ぐ入りさえすれば、掘取口は見事なまでに畦の中心に合ってくれます。

●コンベヤセンサー（特許）

ＣＯＯＳ(Conveyor On Off System) は掘り取り終了後にコンベヤ内に残るビートをタンク内に運んだ後に止まり、掘り取り開始直前にコンベヤを回し始めるコンベヤの自動ＯＮ・ＯＦＦシステムです。一切の操作の手間を省きつつもコンベヤの磨耗を抑えてくれるコンベヤに優しい装置です。

●コンベヤクラッチ（アンローディングセンサー付）

旋回時、回行時など不要なときにはコンベヤの回転をワンタッチで止めたままＡＳＣＳを作動させることができるので、無駄なコンベヤの磨耗を防止します。しかも誤ってコンベヤを回したままダンプアップしてもアンローディングセンサーの働きでコンベヤは自動的に止まってしまいます。

●テールランプ・ウィンカー

日暮れが早いビート収穫時期の夜間移動における安全を確保します。操作ボックスによる単独操作が可能なのでＤＩＮカプラがトラクターに装備されていなくても使用できます。ただし、その場合はトラクターのテールランプ・ウィンカーとは連動しません。またＤＩＮカプラに接続するためのアダプターも標準で付属しているので、カプラが装備されたトラクターの場合は連動させて使用することもできます。お使いになる方の安全性を最優先に考えた親切設計です。

ビートハーベスター

Cleaner & Digger

（型式により装備内容は変わります。詳しくは装備一覧をご覧下さい。）

●調整自在2×8薄型前クリーナー（特許・意匠）

高さ調整がワンタッチのうえ、芯間距離も３段階に調整可能です。しかもクリーナーゴムは、異例の左右それぞれが８本タイプなので、自慢の高速作業でもタッピングされた茎葉はもとよりビートの頭部に残った茎葉も見事にクリーニングします。また、オートチェーンテンショナーが内蔵されているので、チェーンがたるむ心配も無用です。さらに、クリーナーゴムはドーナツ型座金を用いた固定方式の採用により、４本のボルトを外すだけで簡単に８本のクリーナーゴムを交換できます。なお、クリーナーゴムにはカドにちょっとだけ丸みをつけ、ビートをいたわりながら茎葉を処理するソフトタイプ（写真左下）と、ソフトタイプより先端部での威力を２０％アップすることで、茎葉処理能力が２０％以上向上したハードタイプ（写真右下）の２種類を用意しております。８本中の４本をハードタイプ、４本をソフトタイプにする等、組み合わせての使用も可能なので、品種（茎葉の量）やタッピング状態、ほ場条件等に合わせてご使用下さい。

	ソフトタイプ	ハードタイプ
茎葉が少ない	○	○
茎葉が多い	△	○
ビートがグラグラしている	○	△
ビートがしっかりしている	○	○
頭部の茎葉をそぎ落とす	△	◎

クリーナーゴム（ハード）は、別途ご購入下さい。

●４ベアリング６ボルトウェーブコルター

掘取口のウェーブコルターは、高速作業に対応するため、４連のベアリングと６本のボルトによって固定されています。耐久性を重視した異例のヘビーデューティー仕様です。

●ウェーブコルター・ダブルコンベヤ付ワイド掘取口

理想的な形状のショベル、１５インチウェーブコルター、それにダブルコンベヤにより、飲み込みはバツグンです。しかも掘取口の幅は約４２０㎜とワイドなため、自慢の高速作業も楽々です。さらに面倒な補助コンベヤの張り調整も不要です。

●斜（シャ）カットレール（特許）＆丸曲げフレーム

第１コンベヤフレームに土砂や茎葉が溜まる、溜まった土砂などが第１コンベヤ部での土砂分離の妨げになる、また、掃除の時に溜まった土砂を取り除くのが大変である、そんな悩みを解消してくれるのが、この斜（シャ）カットレール＆丸曲げフレームです。従来の上面が平らなコンベヤフレームとは異なり、上面を斜めにカットした独自形状と縦フレームの形状を丸パイプとすることで、フレーム部へ土砂、茎葉が溜まるのを限りなく少なくしました。これにより、茎葉が落ちやすくなったのはもちろん、第２コンベヤへ運ばれる土砂、茎葉の量を大幅に削減し、さらに作業後の掃除も大変楽になりました。

●浅軽（あさがる）フレキシブルショベル（意匠）

浅く掘るとビートの根を切ってしまうから掘り取り深さがついつい深くなる、深くなると抵抗が大きくなりトラクターにも負担がかかる、という問題を解決してくれるのがこの浅軽フレキシブルショベルです。長年の研究に基づいたビートハーベスター専門メーカーならではの独自形状により、従来のショベルよりも浅く掘ることを実現しました。浅く掘れれば抵抗も小さくなり、軽くけん引できることとなります。また、当社オリジナルのフレキシブルバーが絶妙の「逃げ」を提供するので、ショベルと第１コンベヤとの石の挟まりも心配いりません。もちろん材質は特殊鋼を使用しているので耐磨耗性、耐久性もバツグンです。そのうえ根の長い直播ビートとの相性もバツグンです。

ビートハーベスター

Conveyor & Tank

（型式により装備内容は変わります。詳しくは装備一覧をご覧下さい。）

●ロッドチェーン・センターサポートイージーテンショナー

ロッドチェーンの緩みは、飲み込み性能を悪くする第１の原因とわかっていても張るのはなかなか面倒なもの。でも、もうご安心下さい。このセンターサポートイージーテンショナーなら、大きなローラーがロッドチェーンの中央部で最適なテンション効果を発揮してくれます。しかも調整はスパナ１丁で３分もあればＯＫ。もちろん狭い所に潜り込む必要は全くありません。

●パフォーマンスロッド・どロッド付第2コンベヤ（特許）

優れた土砂分離・茎葉処理性能を発揮すると評判のパフォーマンスロッド・どロッド付第２コンベヤは、かなり過酷なほ場条件においてもお客様に納得していただける分離性能を発揮します。

●コンベヤ磨耗軽減装置

高速度設計と、長寿命設計というこの相反する問題を高い次元で両立させるために材質、熱処理はもちろん形状など各部にさまざまな工夫を施してありますので耐磨耗性もバツグンです。

●片持ち式いたわり格子ロッドデフレクター（特許）

片持ち式いたわり格子ロッドデフレクターはローラーデフレクターのように駆動力を必要とせず、非常にシンプルな構造ですからメンテナンスも必要ありません。しかも石のかみ込みがありません。そのうえロッドにはソフトなゴムを焼き付けているのでビートをやさしくいたわります。

●すき間調整ゴム板付三角プレート（特許）

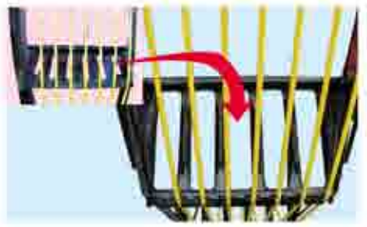
第２コンベヤの排出部に茎葉が溜まる、ビートがスムーズにロータリーバケットへ運ばれなくなる、そんな悩みを解消してくれるのが、三角プレートについているこのすき間調整ゴム板。従来の調整範囲をより大きく持たせることで、土質や茎葉の量に応じてスパナ１丁で簡単に調整できるようになりました。

●トルクアジャスター

ロータリーバケットの駆動輪の内側からバネで押さえ付けるローラーを設け、その圧力を調整することによって伝達トルクを自在に変えることができるという画期的な装置です。これにより、従来の２WD方式の３～４倍のトルクを伝えることができるようになりました。かみ合い駆動方式と相まって並みの２WDとは比べものにならない力強さです。

●プレスケルトンロータリーバケット（特許）

雨の後などは湿った土が仕切り板の穴をふさいでしまう、タンクの中にも土が溜まるので掃除をしなければならない、そんな問題を解消するのがこのプレス成形されたスケルトンタイプのプレスケルトンロータリーバケットです。従来のロータリーバケットより仕切り板の穴が大きくなっているので土の付着が少なく、土砂分離も非常に良くなっています。ですからタンクの中に土が溜まらず、余計な掃除が必要ありません。そのうえ独特の三角形状を採用することで強度が格段に高くなったうえ、一般的なバースケルトンタイプより軽量化することができました。



●フルフローティング・キャッチングプレート

ロータリーバケットとキャッチングプレートの間に石が挟まる、ロータリーバケットが音もなく止まる、目一杯詰まってからようやく気が付く…。石れき地帯におけるこの問題をフルフローティング・キャッチングプレートがさりげなく受け流し、一気に解決してくれます。しかもスタッフィングラバープレートによって石の挟まりを激減。石れき地帯でのノンストップ作業に大きく貢献します。

●アーチ型デザイン大型ハイダンプ（意匠）

６６０シリーズはタンク上部が斬新なアーチ型デザインとなっており、しかもタンク容量は７，７００ℓと超大型で、ご覧のように溢れるほど入ります。またダンプ支点の高さは２，６９０㎜と余裕タップリです。

●ブラックアウトメッシュ

夜間のビート収穫において、ビートがタンクに入っているかを確認することはとても大切なことの一つ。そこで、タンク前側のメッシュ部を黒つや消しに塗装することでタンク内部のビートの視認性を向上させました。

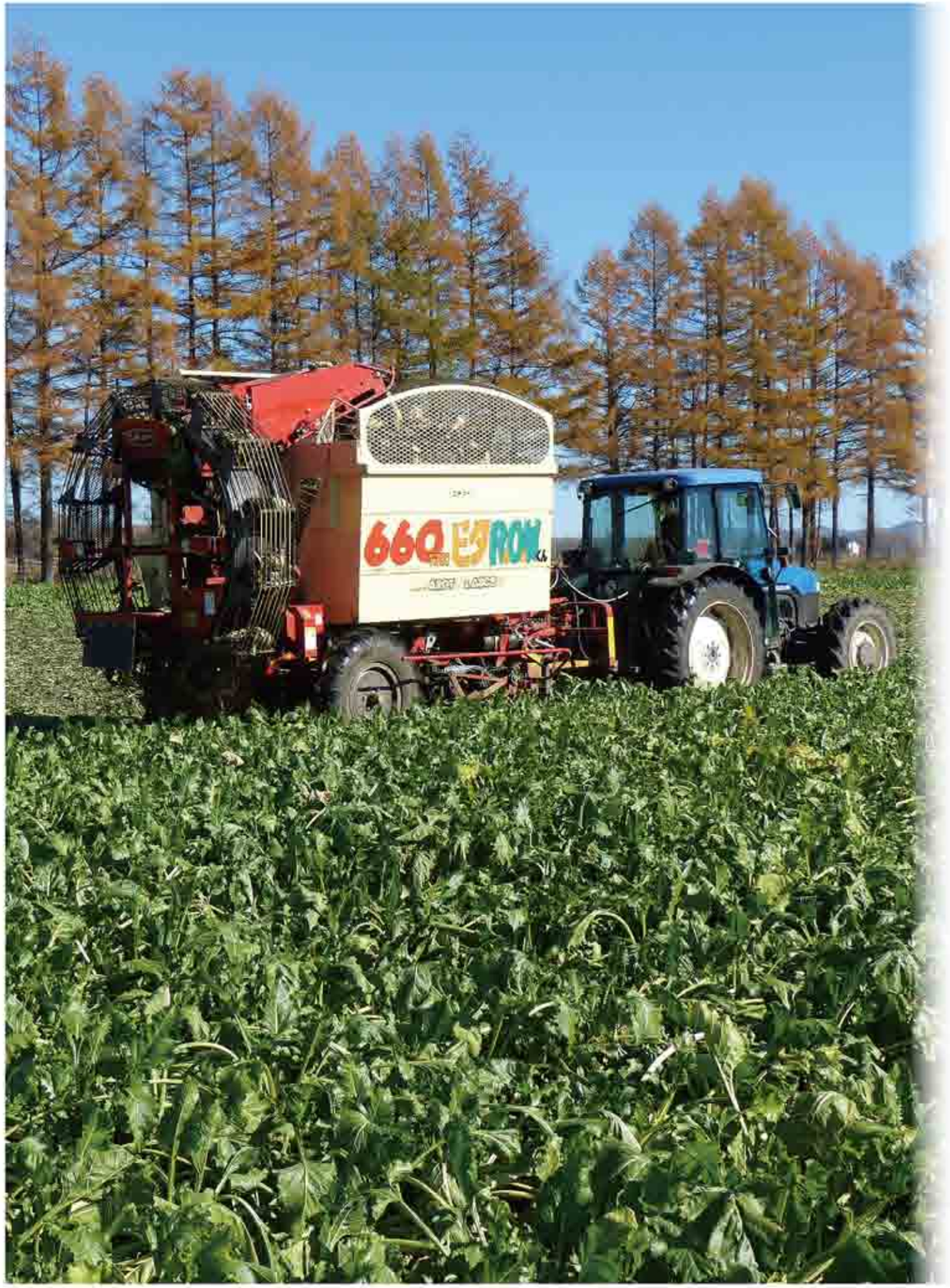
●いたわりネット（特許）・いたわりマット

タンク内へのビートの落下速度を、中間地点でゼロにします。したがっていつも落差は半分以下。また、ネット配列は上下２段でタンク内でのビートをひとつ残らずやさしくいたわります。さらにタンク底のビート落下地点に厚いゴムマットを敷き、掘り始めのビートをやさしくいたわります。

●オートマチックシャッター

ダンプアップ時にはタンク後方の切り欠きの部分が自動的に閉じてビートのこぼれを防止します。満タン時の荷降ろしも万全です。

ビートハーベスター



Other Functions

（型式により装備内容は変わります。詳しくは装備一覧をご覧下さい。）

●超大径２０インチラグタイヤ

ビタＲＯＷくんを支えるこの超大径２０インチラグタイヤは、深い「ラグ」が強力なグリップを提供しますので、悪条件になった時のタイヤがぬかる、ぬかると引きずる、引きずるとぬかる、といった悪循環をタイヤが強力に回ろうとして断ち切ります。回ろうとすれば引きずらない、引きずらなければぬからないとなります。また、「ラグ」は横方向にもグリップして、傾斜地での横流れ防止にも大きく役立ちます。

●右タイヤ駆動式高精度タッパー

タッパーは多角形式回転スクレッパー付のスケルトンタイプフィーラーホイールにより土砂の付着によってタッピング精度が変わることがありません。しかもタンク内にビートが入って重くなっても切断厚さは変わりません。どこまでも「薄く確実に」切れる精度の高いタッパーです。さらに駆動方式は全て右タイヤ駆動式のため、悪条件下でもしっかりとタッピングします。また、万が一のトラブルの際にも安全クラッチ付ジョイントが音を発して知らせてくれます。そのうえ、フレームには移動時の無駄な回転を止めるタッパー回転止め金具が付いており、ジョイントを付け替えるだけでタッパーの回転を止めることができる、至れり尽くせりのタッパーです。

●広角ジョイントとＰＴＯジョイントハンガー

ＰＴＯジョイントはどんな場合にも安心して回し続けることのできる広角ジョイントを採用しました。角度がきつくても最大７０°までへっちゃらです。またヒッチ部には格納時にジョイントを取り付けたまま一緒に格納できるＰＴＯジョイントハンガーも付いています。

●本機内蔵安全クラッチ装置

メイン動力の安全装置は全て爪クラッチ式を採用。作業時には音で異常を知らせます。安全ボルトのように交換する必要もないため、石れき地帯での能率アップに大きく貢献します。

●免傾自脱（めんけいじだつ）バネ付長さ調整式ヒッチ（特許）

トラクターが変わればＰＴＯジョイントの長さも変わります。そんな時はこの長さ調整式ヒッチで合わせて下さい。共同利用などの場合、特に便利です。またドローバーを傾けず水平に保ってくれる「免傾自脱バネ」が付いているので、トラクターへの取り付けも簡単に行えます。

●タイヤ切れ角表示板

タイヤの切れ角はケーブルを介して機械前面に表示されます。平面式のため、見る方向による誤差がありません。

●ワンタッチ注油口

チェーンの注油はカバーを外さずに指１本でＯＫ。始業点検の時間を短縮し、機械の寿命を延ばします。また、整備等でカバーを外す場合でもスパナ等の工具は不要。蝶ボルト方式を採用しておりますので工具を使わずカバーの着脱が可能です。

ビートハーベスター

土場に降ろすビートを見事な連携でやさしくまもる
いたわりバン ＆ ふまんガード

●いたわりバン（特許）

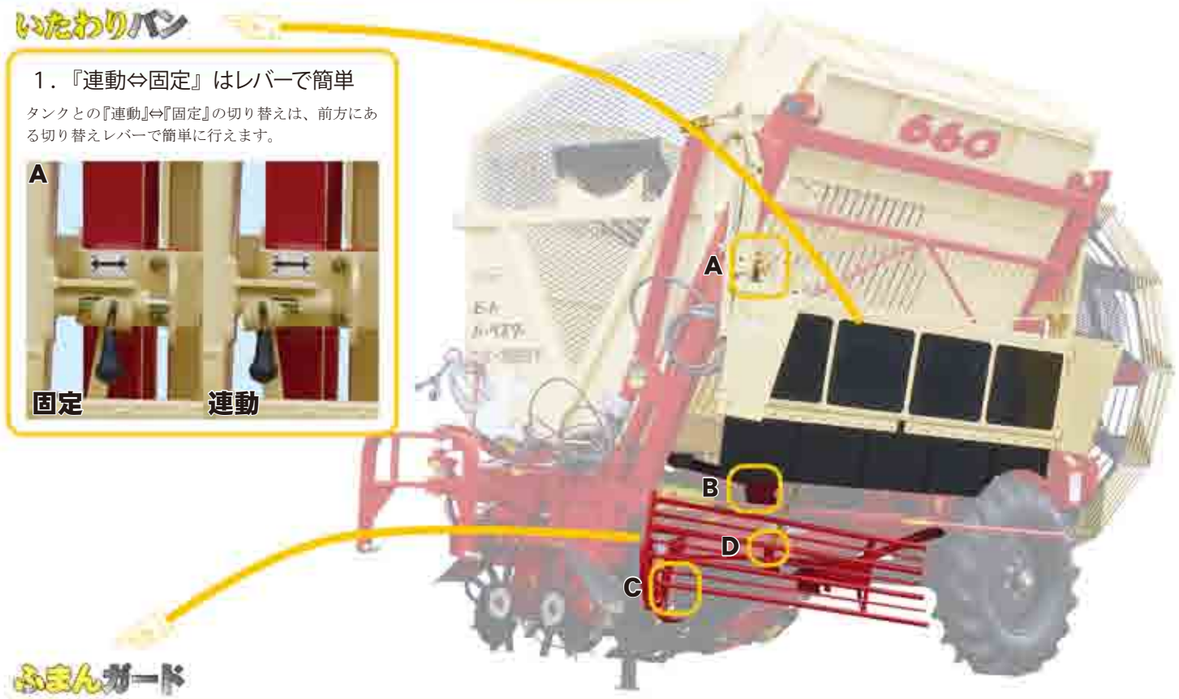
土場にビートを直接荷降ろしする時の土場との落差を軽減し、ビートへのショックをやわらげます。しかも、高い山を形成できます。そのうえゴムを多用した本格派仕様です。

●４３０シリーズ用●６６０シリーズ用

●ふまんガード（特許）

土場にビートを降ろしてから脱出する時にハーベスターのタイヤで大切なビートを踏んでしまう、せっかく一生懸命育てたビートが土場に埋もれてしまう…、割れてしまう…、そんな不満を解消してくれるのが、このふまんガード。ふまんガードはタンクを上げると下がり、下げると上がる…、タンクに連動して下がったり上がったりするシンプルだけど画期的なアイテム。非常に丈夫ですが、土場に降ろしたビートを踏まずにやさしくいたわってくれます。

●６６０シリーズ用



1．『連動⇔固定』はレバーで簡単

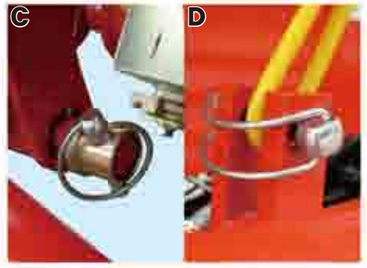
タンクとの『連動』⇔『固定』の切り替えは、前方にある切り替えレバーで簡単に行えます。

1．『連動⇔固定』はピン1本

『連動』⇔『固定』の切り替えは、タンク下にある切り替えピンの場所を変えるだけ（常時「連動」で使用しても問題ありません。使用しない時のムダな動きを止めたい場合などに「固定」を使用して下さい）。

2．開閉も楽チン楽チン

「ふまんガード」の開閉もガード前方のリンチピンの抜き差しと、「ふまんガード」本体を吊っているワイヤーを外すだけ（掘取口周辺のグリースアップやロッドチェーンの張り調整の邪魔になりません）。



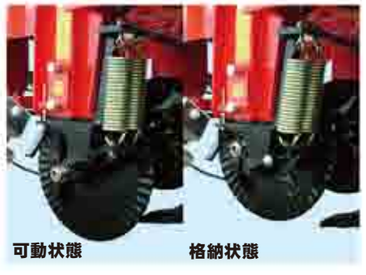
3．ダンプ⇔土場の切り替え不要

「ふまんガード」はハーベスターのタイヤより飛び出しません。『連動』でガードが下がってもダンプ受けが可能なので、ピンの入れ替えをする必要はありません。

≪石れき地帯の強い味方≫

●DSSAコルター（特許）

石が多くコルターが割れてしまう、といった石れき地帯特有の悩みを解消してくれるのがこのＤＳＳＡ（Dual Spring Shock Absorb）コルターです。計算し尽くされた２本のバネと独自のリンク機構を持つこのコルターは、どんなに硬い畑でもふらふら逃げることなくしっかりと土を切ります。さらに石がある場合のみまるで石を感知しているかのように石の衝撃から逃げ、コルターを護ってくれます。また土手際等の端の１本を掘る場合、ロックボルトを一切緩めることなくたった１本のピンを差し替えるだけでコルターを可動状態から格納（上げた）状態に簡単に切り替えできる親切設計となっています。



≪重粘土地で一層の土砂分離≫

●ローラーデフレクター

重粘土地帯でより一層の土砂分離・茎葉処理能力を発揮するのがこのローラーデフレクター。ローラーが高速回転をするので、パフォーマンスロッド・どロッド付第２コンベヤとのコンビネーションで強制的に土砂分離・茎葉処理を行います。また、ローラーにはゴムを焼き付けているのでビートへのいたわりもバッチリです。

≪茎葉が多いビートに最適≫

●サイドペアクリーナー ２×６（特許）

掘り取る前にビートの茎葉をしっかりと除去しておかないと飲み込み不良の原因になってしまいます。そこで登場するのがこのサイドペアクリーナー２×６。合計１２本のクリーナーゴムが、つぎに掘り取る畦のビートの茎葉をしっかりとクリーニングしていくので、掘り取る前の茎葉が気になりません。茎葉の量が多い品種のビートでもヘッチャラです。

ビートハーベスター

ニチノー LX-660T
左ダンプ式、タッパー付
安全鑑定番号　33099/10

●標準タイプ

■主な装備
●5,000kg 超大型タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ
●高さ、芯間調整式前クリーナー（オートチェーンテンショナー付） ●右タイヤ駆動式高精度タッパー ●トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット

ニチノー LX-430T
左ダンプ式、タッパー付
安全鑑定番号　27205/10

●標準タイプ

■主な装備
●2,900kg 大型タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ
●高さ、芯間調整式前クリーナー（オートチェーンテンショナー付） ●右タイヤ駆動式高精度タッパー ●トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット

ニチノー RX-660
右ダンプ式、タッパー無
安全鑑定番号　33100/10

●標準タイプ

■主な装備
●5,000kg 超大型タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ
●高さ、芯間調整式前クリーナー（オートチェーンテンショナー付） ●トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット

ニチノー RX-430
右ダンプ式、タッパー無
安全鑑定番号　27206/10

●標準タイプ

■主な装備
●2,900kg 大型タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ
●高さ、芯間調整式前クリーナー（オートチェーンテンショナー付） ●トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット

■装備一覧

●＝標準装備
△＝注文装備（別途料金が発生いたします）

	ニチノー LX-660T	ニチノー RX-660	ニチノー LX-430T	ニチノー RX-430
■ヒッチ系統				
免傾自脱バネ付長さ調整式ヒッチ	●	●	●	●
先端スラストメタル	●	●	●	●
ケーブル・油圧ホースホルダー	●	●	●	●
PTOジョイントハンガー	●	●	●	●
■動力伝達系統				
本機内蔵安全クラッチ付ジョイント	●	●	●	●
PTO広角ジョイント	●	●	●	●
コンベヤクラッチ（アンローディングセンサー付）	●	●	●	●
トルクアジャスター	●	●	●	●
ワンタッチ注油口	●	●	●	●
■掘り取り系統				
浅軽フレキシブルショベル	●	●	●	●
リジッドコルター（15インチ）	●	●	●	●
DSSAコルター（15インチ）	△	△	△	△
斜カットレール＆丸曲げフレーム	●	●	●	●
■コンベヤ系統				
ワンタッチ取り外し式掘取コンベヤガード	●	●	●	●
ロッドチェーン・センターサポートイージーテンショナー	●	●	●	●
補助コンベヤオートテンショナー	●	●	●	●
コンベヤ磨耗軽減装置	●	●	●	●
フローティングサポート補助コンベヤ	●	●	●	●
パフォーマンスロッド（3本）	●	●	●	●
どロッド（3本）	●	●	●	●
片持ち式いたわり格子ロッドデフレクター	●	●	●	●
ローラーデフレクター	△	△	△	△
プレスケルトンロータリーバケット	●	●	●	●
スタッフィングラバープレート	●	●	●	●
ナイスキャッチプレート	●	●	●	●
フルフローティングキャッチングプレート	●	●	●	●
ロータリーバケット脱落防止装置	●	●	●	●
送りコンベヤ石抜きロッド	●	●	●	●
■クリーナー系統				
調整自在前クリーナー　2×8（オートチェーンテンショナー付）	●	●	●	●
サイドシングルクリーナー	●	●	●	●
クリーナーゴム（ソフト）	●	●	●	●
クリーナーゴム（ハード）	△	△	△	△
サイドペアクリーナー　2×6		△		△
■タッパー系統				
右タイヤ駆動式高精度タッパー	●		●	
タッパー安全クラッチ装置	●		●	
タッパーイージージャッキ	●		●	
後期用ナイフステム	●		●	
ディスクコルター（14インチ）	●		●	
タッピングナイフ（2枚）	●		●	
■足廻り系統				
超大径20インチラグタイヤ	●	●	●	●
■電気系統				
小型軽量・取付角度自在操作ボックス（マグネット付）	●	●	●	●
ASCS	●	●	●	●
AROT	●	●	●	●
ACTRES	●	●	●	●
COOS	●	●	●	●
テールランプ・ウィンカー	●	●	●	●
ケーブルアダプター	△	△	△	△
■タンク系統				
アーチ型デザインタンク	●	●		
部分ブラックアウトメッシュタンク	●	●	●	●
ダンプ自動折タタミ式エクステンション	●	●	●	●
オートマチックシャッター	●	●	●	●
いたわりネット	●	●	●	●
いたわりマット	●	●	●	●
いたわりバン	△	△	△	△
ふまんガード	△	△		
■付属品・その他				
工具箱	●	●	●	●
標準工具	●	●	●	●
取扱説明書	●	●	●	●
駐車スタンド	●	●	●	●
駐車ブレーキ（輪止め式）	●	●	●	●

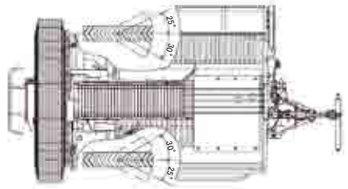
■主要諸元

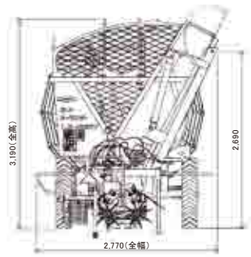
		ニチノー LX-660T	ニチノー RX-660	ニチノー LX-430T	ニチノー RX-430
品名		ビートハーベスター			
愛称		ピタROWくん			
型式					
規格		1畦			
適応トラクター(kW{PS}以上)		51{70}		44{60}	
カテゴリー		Ⅰ・Ⅱ*1			
装着方法		トラクターけん引式			
全長(mm)		5,030			
全幅(mm)		2,770		2,740	
全高(mm)		3,190		3,045	
重量(kg)		2,825	2,670	2,555	2,400
作業畦幅(mm)		600～660,690	600～690	600～660,690	600～690
タッピング機構	フィーラーホイール形式	スケルトンタイプ	なし	スケルトンタイプ	なし
	フィーラーホイール幅×直径(mm)	246×556		246×556	
	スクレッパー形式	多角形回転板式		多角形回転板式	
	動力源	右タイヤ		右タイヤ	
茎葉処理機構		サイドシングル*2＋前クリーナー（芯間、高さワンタッチ調整式、オートチェーンテンショナー付）			
掘り取り機構		2ポイントショベル			
畦合わせ機構		AROT			
ステアリング機構		ASCS			
使用電源		DC 12ボルト			
掘り取りコンベヤ		センターサポートイージーテンショナー付ロッドチェーン＋補助コンベヤ			
上昇コンベヤ		トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット＋送りコンベヤ			
排出機構		左ダンプ	右ダンプ	左ダンプ	右ダンプ
タンク容量(m^3)		7.7		4.5	
ダンプ支点高さ(mm)		2,690		2,640	
満タン排出時所要油圧(MPa{kgf/cm^2})		16{160}		15{150}	
ダンプアップ所要時間*3(sec)		12.1		10.0	
タイヤ	サイズ	10.00-20 10PR			
	空気圧(kPa{kgf/cm^2})	290{3.0}		250{2.5}	
作業速度*4(m/s)		～4.2		～4.2	
作業能率(a/h)(効率)		～60(60%)		～50(50%)	

＊１：ロワーリンクピンは大リンクが標準です。小リンクをご希望のお客様はあらかじめ担当セールスにお申しつけ下さい。＊２：Rタイプ（タッパー無し）はサイドペアクリーナーが注文装備です。
＊３：トラクター油圧吐出量が毎分３５リットルのときの理論値なので、トラクターの種類によって変わります。＊４：作業速度は土質・ほ場の水分条件、地形、トラクターの馬力数によって変わります。
詳しくは担当セールスにお尋ね下さい。

■寸法図

ニチノー　LX-660T





ニチノー　LX-430T